

## 第7章 障がい（児）基礎調査（入所施設管理者用）

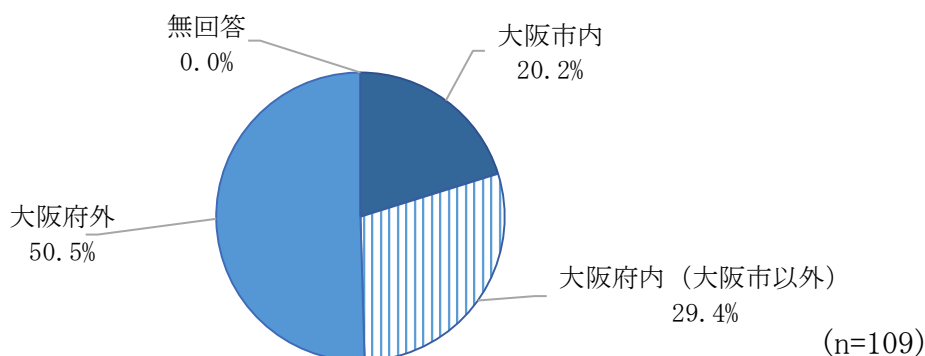
## 調査結果

### 1. 施設の概要

#### (1) 施設の所在地

問1	貴施設の所在地について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
----	--------------------------------	------

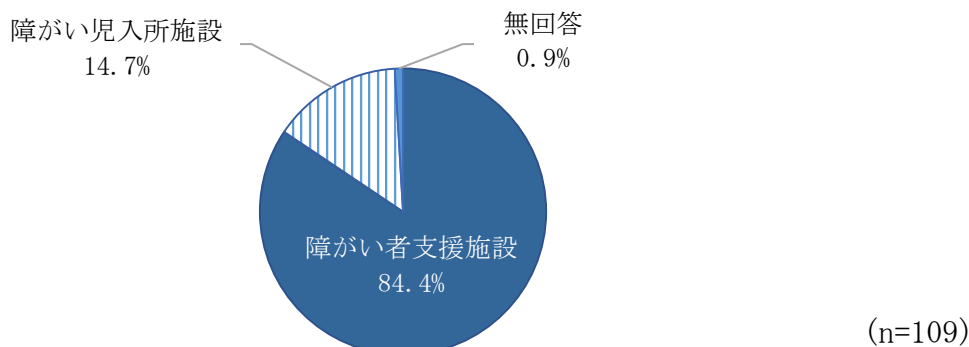
図表 7-1-1 施設の所在地



#### (2) 施設の種類

問2	貴施設の種別について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
----	-------------------------------	------

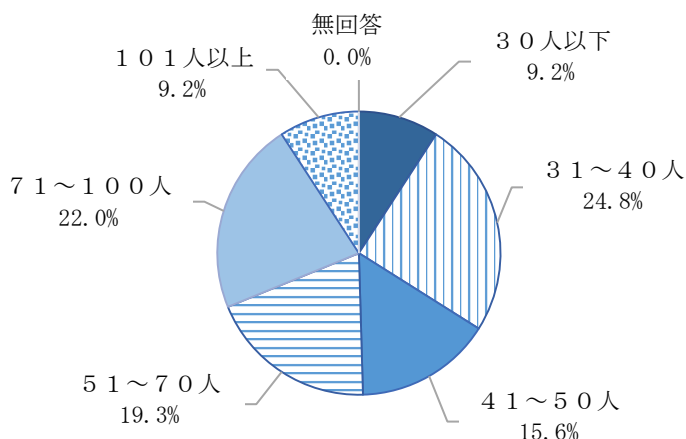
図表 7-1-2 施設の種別



#### (3) 入所定員

問3	貴施設の入所定員について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
----	---------------------------------	------

図表 7-1-3 入所定員

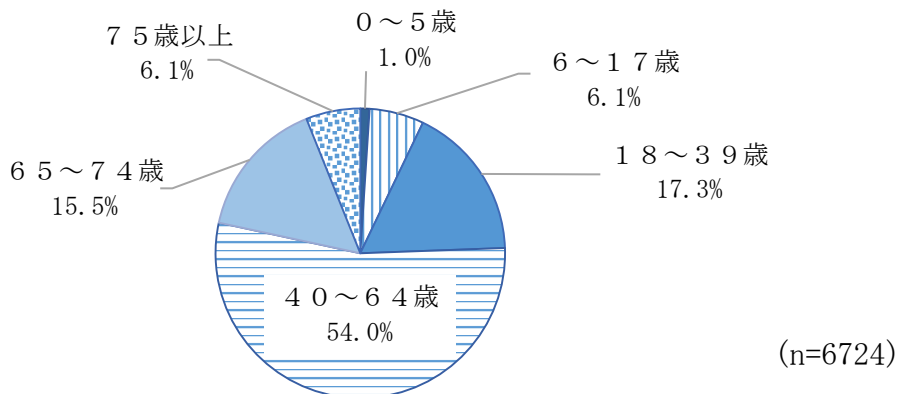


		n	30人以下	31~40人	41~50人	51~70人	71~100人	101人以上	無回答
全体		109	9.2	24.8	15.6	19.3	22.0	9.2	0.0
問2 施設の種別別	障がい者支援施設	92	7.6	26.1	18.5	18.5	22.8	6.5	0.0
	障がい児入所施設	16	18.8	18.8	0.0	18.8	18.8	25.0	0.0

(4) 入所者の年齢構成

問4	入所者の年齢構成について、次の各年齢層にあてはまる人数を記載してください。	数値記入
----	---------------------------------------	------

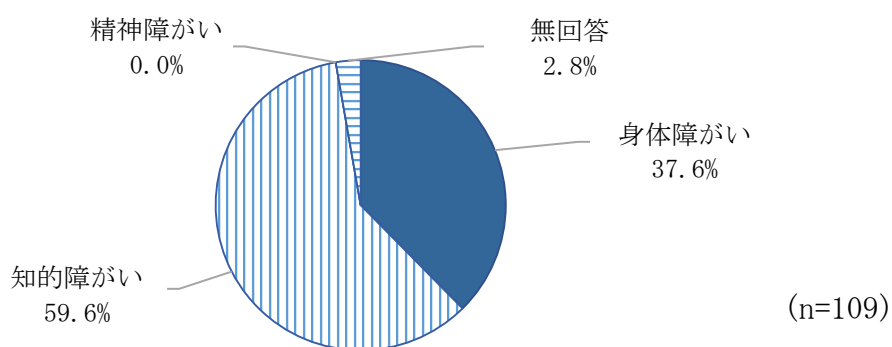
図表 7-1-4 入所者の年齢構成



(5) 入所者で最も多い障がいの種別

問5	貴施設に入所されている方について、最も多い障がいの種別は次のうちどれですか。	単一回答
----	--	------

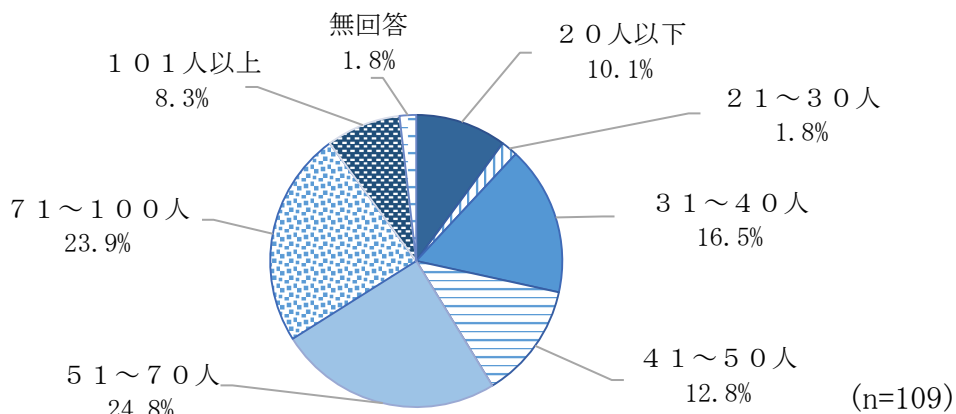
図表 7-1-5 入所者で最も多い障がいの種別



(6) 日中活動系サービスの利用定員

問6	貴施設の主たる日中活動系サービスの利用定員について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
----	--	------

図表 7-1-6 日中活動系サービスの利用定員



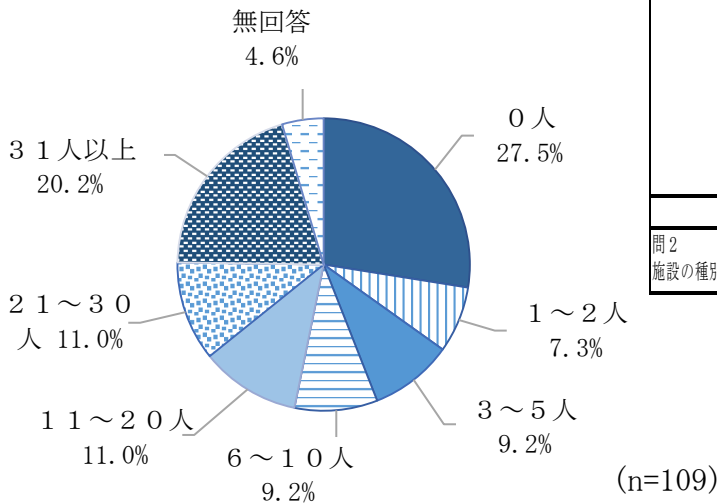
## 2. 強度行動障がいのある方への支援について

### (1) 強度行動障がいのある方の入所者数

<b>問7</b>	貴施設において、強度行動障がいのある方の入所者数について、あてはまる番号に○をつけてください。	<b>単一回答</b>
-----------	---	-------------

前回同様、「0人」が27.5%と最も多く、次いで「31人以上」が20.2%、「11人～20人」及び「21人～30人」が11.0%と続いています。

図表 7-2-1 強度行動障がいのある方の入所者数



		n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体		109	27.5	7.3	9.2	9.2	11.0	11.0	20.2	4.6
問2 施設の種別	障がい者支援施設	92	26.1	7.6	7.6	8.7	10.9	13.0	20.7	5.4
	障がい児入所施設	16	37.5	6.3	18.8	12.5	6.3	0.0	18.8	0.0

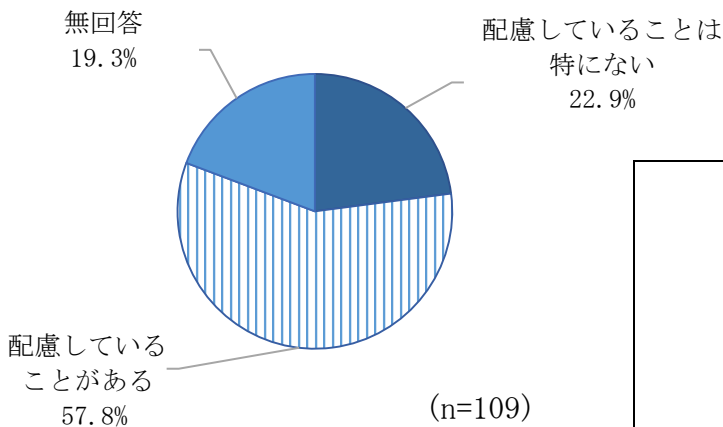
【参考】 前回調査結果  
 ・0人 31.2%  
 ・11～20人 13.8%  
 ・31人以上 13.8%  
 ・6～10人 12.8%  
 ・3～5人 11.9%

### (2) 強度行動障がいのある方への配慮

<b>問8①</b>	貴施設において、強度行動障がいのある方に対して配慮していることはありますか。	<b>単一回答</b>
------------	--	-------------

前回同様、「配慮していることがある」が57.8%、「配慮していることは特にない」が22.9%となっています。

図表 7-2-2 強度行動障がいのある方への配慮



【参考】 前回調査結果  
 ・配慮していることがある 58.7%  
 ・配慮していることは特にない 22.9%

		n	配慮していることは特にない	配慮していることがある	無回答
全体		109	22.9	57.8	19.3
問2 施設の種別	障がい者支援施設	92	22.8	58.7	18.5
	障がい児入所施設	16	25.0	50.0	25.0

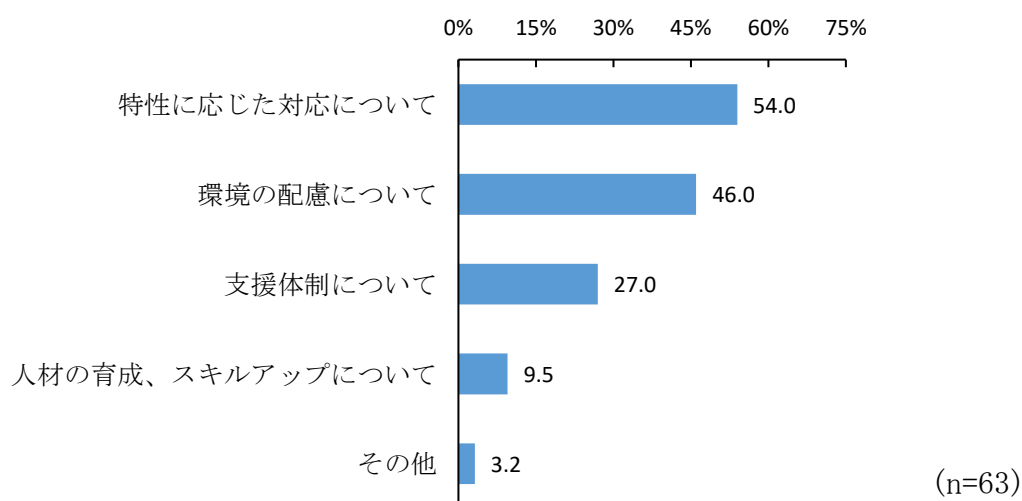
## (3) 強度行動障がいのある方への配慮についての具体的内容

問8②	配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。	自由記述
-----	-----------------------------	------

「特性に応じた対応について」の記述が54.0%と最も多く、次いで「環境の配慮について」が46.0%、「支援体制について」が27.0%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-2-3 強度行動障がいのある方への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	63(57.8%)	46(42.2%)



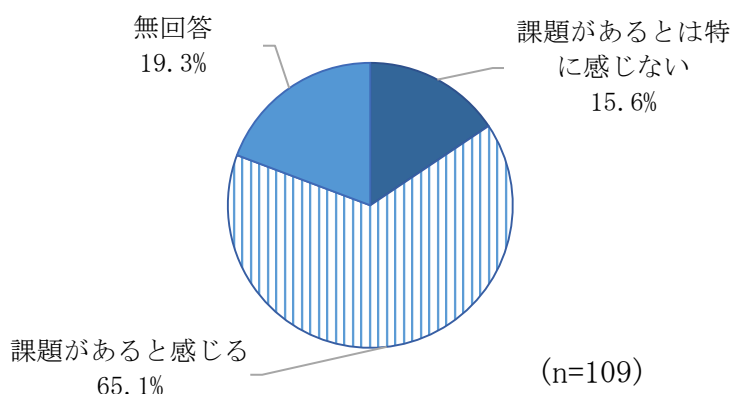
- 正規職員の生活支援員は、強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）を受けており、強度行動障がいのある方への理解促進と、適切な支援ができるよう職員教育をしている。
- 本人の想いを丁寧に観察し、本人が難しい事は本人の代わりに言葉（表現）にしたり、職員間で対応の統一をできるように努めている。
- 特性の共有、支援方法の検討・共有。
- 絵や写真を利用し、スケジュールを作成する。事前にスケジュールを説明し、安心出来る環境を提供する。

(4) 強度行動障がいのある方への支援の課題

<b>問9①</b>	貴施設における強度行動障がいのある方に対する支援として、課題があると思われていることはありますか。	<b>単一回答</b>
------------	---	-------------

前回同様、「課題があると感じている」が 65.1%、「課題があるとは特に感じない」が 15.6%となっています。

図表 7-2-4 強度行動障がいのある方への支援の課題



		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		109	15.6	65.1	19.3
問2 施設の種別	障がい者支援施設	92	15.2	67.4	17.4
	障がい児入所施設	16	18.8	50.0	31.3

【参考】前回調査結果  
 ・課題があると感じる 62.4%  
 ・課題があるとは特に感じない 14.7%

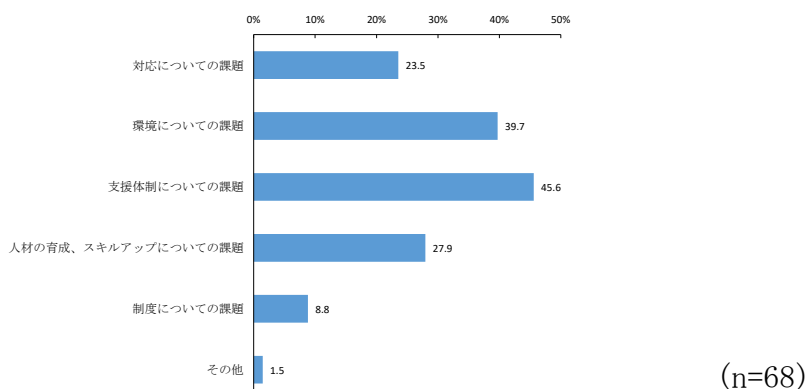
(5) 強度行動障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

<b>問9②</b>	課題があると感じていることについて、次にご記入ください。	<b>自由記述</b>
------------	------------------------------	-------------

「支援体制について」の記述が 45.6%と最も多く、次いで「環境についての課題」が 39.7%、「人材の育成、スキルアップについて」が 27.9%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-2-5 強度行動障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	68(62.4%)	41(37.6%)



- 利用者の特性を理解し、その特性に配慮した支援をするための職員のスキル不足。
- 職員のスキル、知識が少なく、どのように対応するべきか困っている時がある。（施設としても身体が今まで主たる障がいであったため）強度行動障がいに対する研修が少ない。
- 強度行動障がいがある方に対して、支援を行う上での専門的な設備と環境。
- 個室がないのでなかなかクールダウンができる部屋がない。
- よく叩く利用者に対し、職員が見守るという後手の対応しかできていない。

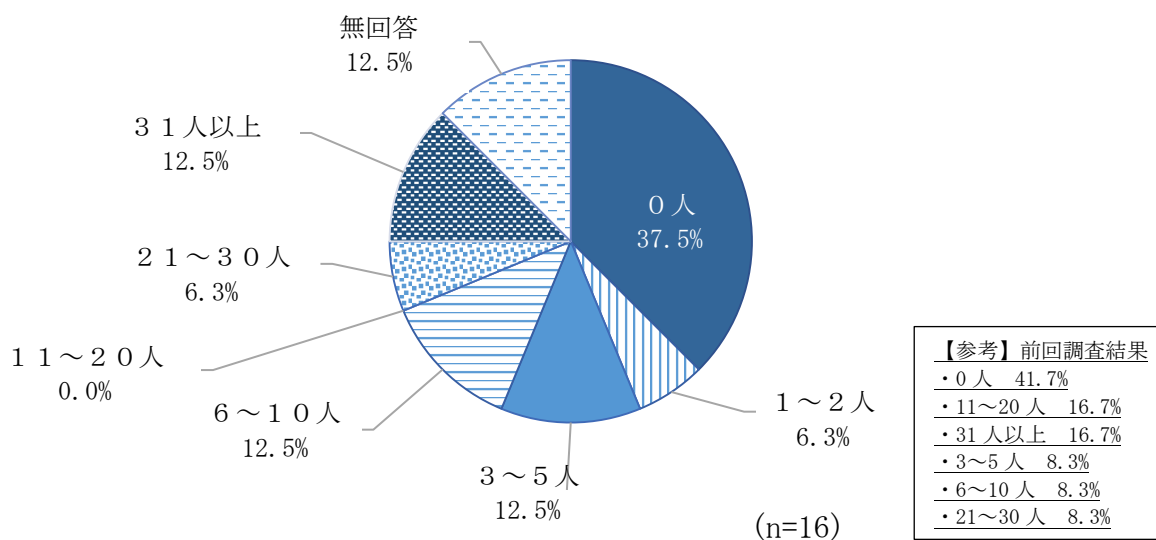
### 3. 年齢超過者（18歳以上の施設入所者）への支援について

#### (1) 年齢超過者の入所者数

<b>問10</b>	<b>貴施設において、年齢超過者の入所者数について、あてはまる番号に○をつけてください。</b>	<b>単一回答</b>
------------	--	-------------

「0人」が37.5%と前回同様最も多くなりましたが、今回は「3～5人」「6～10人」及び「31人以上」が12.5%と続いています。

図表 7-3-1 年齢超過者の入所者数

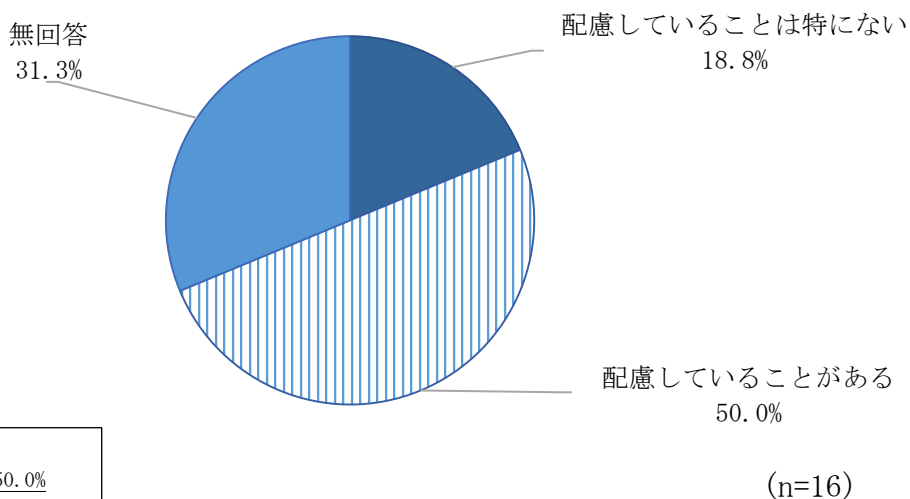


#### (2) 年齢超過者への配慮

<b>問11①</b>	<b>貴施設において、年齢超過者に対して配慮していることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
-------------	---	-------------

前回同様、「配慮していることがある」が50.0%、「配慮していることは特にない」が18.8%となっています。

図表 7-3-2 年齢超過者への配慮



【参考】前回調査結果	
・配慮していることがある	50.0%
・配慮していることは特にない	8.3%

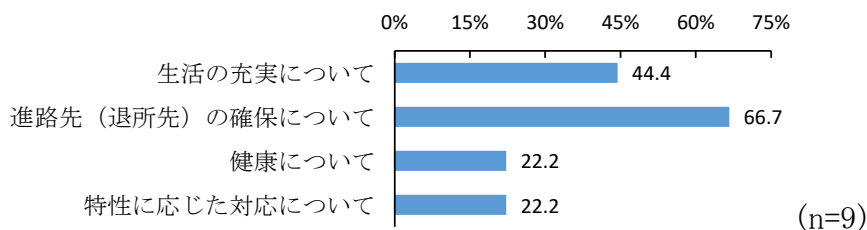
(3) 年齢超過者への配慮についての具体的内容

<b>問 1 1 ②</b>	<b>配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
----------------	------------------------------------	-------------

「進路先（対処先）の確保について」の記述が 66.7%と最も多く、次いで「生活について」が 44.4%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-3-3 年齢超過者への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	9(8.3%)	100(91.7%)



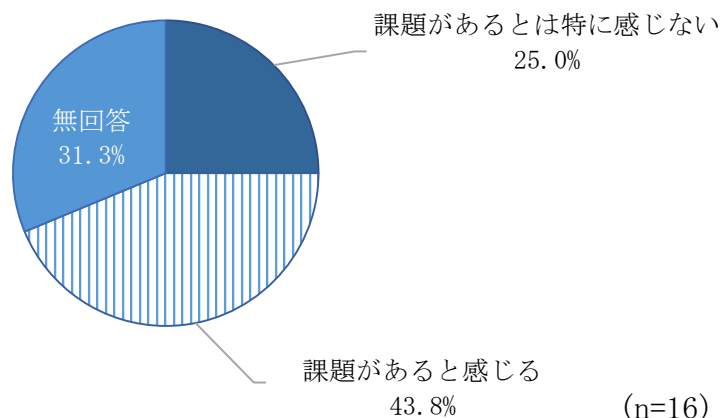
- 本人のライフサイクルを考えた支援。
- 個人の QOL を考えた支援（何を望まれているか、どのように生きていきたいか家族支援を通し、本人とコミュニケーションをとり考える）や、外出・外泊など、地域生活者としての関わり方。
- 高校を卒業するタイミングで、施設を退所することとなるため、地域移行に関して、本人・保護者・移行先・関係機関と緊密に連携を図り、円滑に移行できるように努めている。
- 生活介護として健康面での積極的な体操の取り入れ。

(4) 年齢超過者への支援の課題

<b>問 1 2 ①</b>	<b>貴施設における年齢超過者に対する支援として、課題があると思われることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
----------------	--	-------------

前回同様、「課題があると感じる」が 43.8%、「課題があるとは特に感じない」が 25.0%となっています。

図表 7-3-4 年齢超過者への支援の課題



**【参考】** 前回調査結果  
 ・課題があると感じる 66.7%  
 ・課題があるとは特に感じない 0.0%

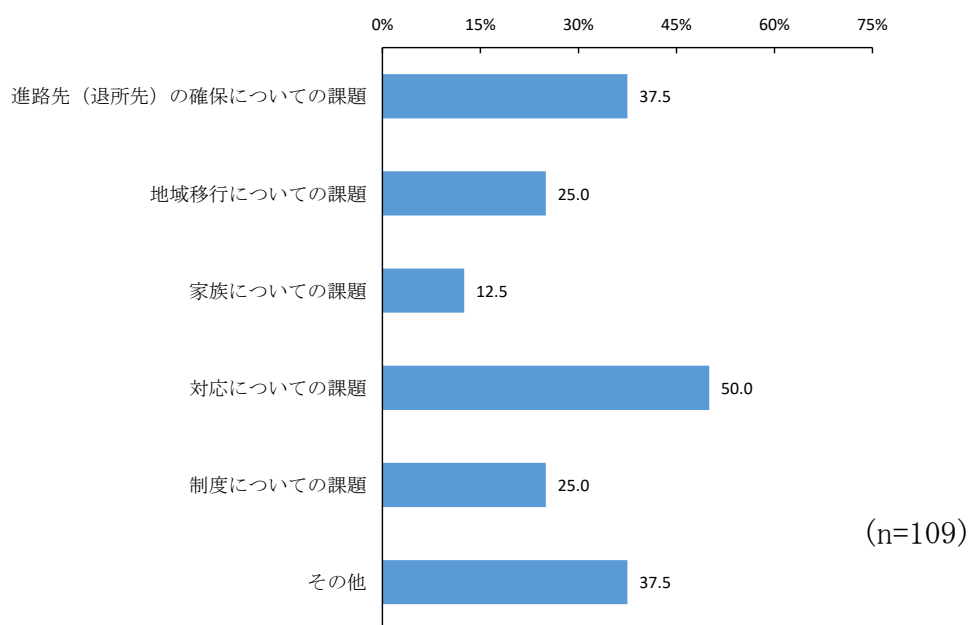
## (5) 年齢超過者への支援の課題についての具体的内容

<b>問 1 2 ②</b>	課題があると感じていることについて、次にご記入ください。	自由記述
----------------	------------------------------	------

「対応について」の記述が 50.0%と最も多く、次いで「進路先（対処先）の確保について」が 37.5%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-3-5 年齢超過者への支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	8(7.3%)	101(92.7%)



- 施設生活を継続するのか、在宅移行可能かの判断。
- 在宅生活以外で、施設外でも参加の機会をつくること。
- 外出支援（ヘルパーステーション利用）で、気管切開の方などの外出支援ができる看護師が派遣されるような制度があるといい。
- 18歳～20歳までの制度のうすさ。
- 学齢児童と18才以上の利用者が混在しており、学校行事などで継続した日中活動が取りくみにくい状況がある。



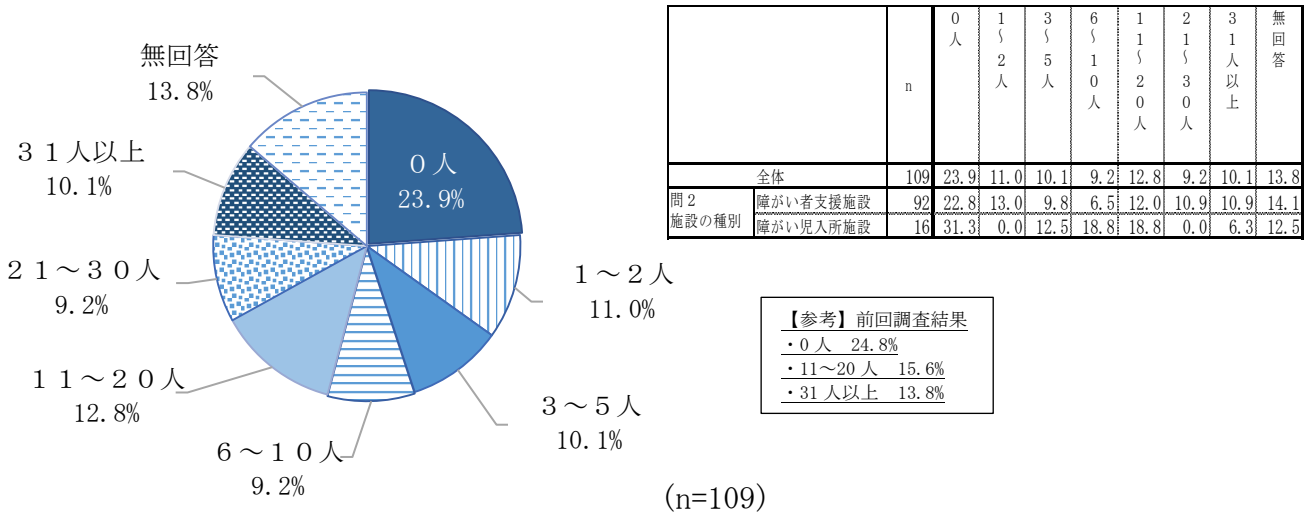
### 4. 発達障がいのある方への支援について

(1) 発達障がいのある方の入所者数

<b>問 1 3</b>	貴施設において、発達障がいのある方の入所者数について、あてはまる番号に○をつけてください。	<b>単一回答</b>
--------------	---	-------------

前回同様、「0人」が23.9%と最も多く、次いで「11～20人」の12.8%、と前回同様になりました。今回は「1人～2人」が11.0%と続いています。

図表 7-4-1 発達障がいのある方の入所者数

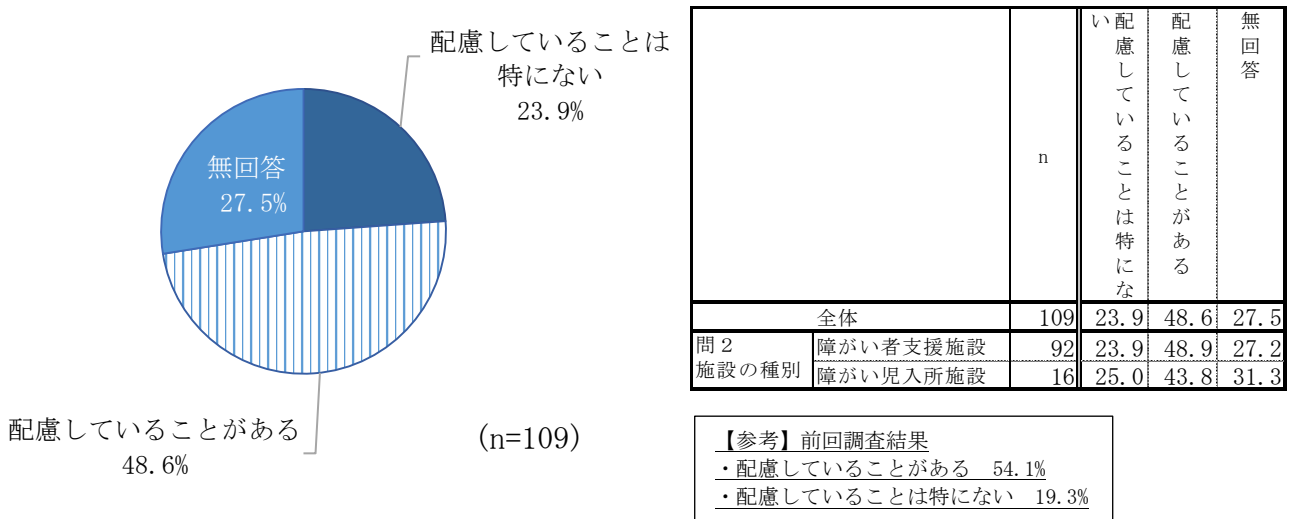


(2) 発達障がいのある方への配慮

<b>問 1 4 ①</b>	貴施設において、発達障がいのある方に対して、配慮していることはありますか。	<b>単一回答</b>
----------------	---------------------------------------	-------------

前回同様、「配慮している」が48.6%、「配慮していることは特にない」が23.9%となっています。

図表 7-4-2 発達障がいのある方への配慮



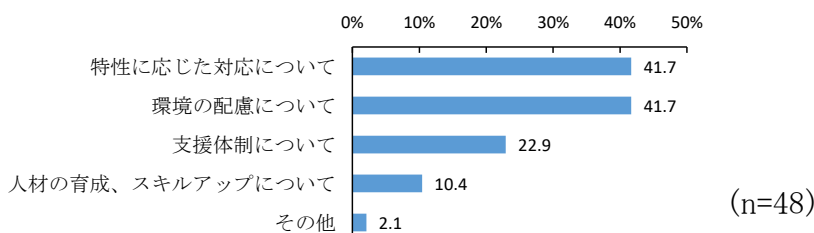
(3) 発達障がいのある方への配慮についての具体的な内容

<b>問14②</b>	<b>配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
-------------	------------------------------------	-------------

「特性に応じた対応」及び「環境の配慮」についての記述が41.7%と最も多く、「支援体制について」が22.9%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-4-3 発達障がいのある方への配慮についての具体的な内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	48(44.0%)	61(56.0%)



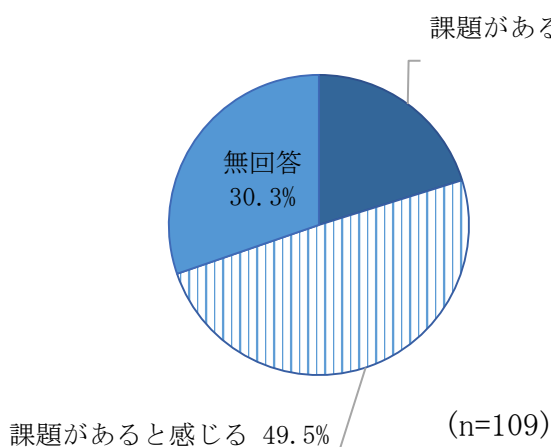
- 約束事を決めて職員全体で統一した関わりをもっている。
- 急な変更は、今朝、決ったことに対しては1週間ほど前に伝えている。
- 好きな職員、嫌いな職員が本人の中であり、関わりに対し無理をせず関わりが持てない職員は、一歩引いた関わりをとっている。
- 行事や外出の日程表、献立表、当日の予定表等を視覚構造化して提示することで、行動の見通しを立てやすくし、安心へと繋げる。

(4) 発達障がいのある方への支援の課題

<b>問15①</b>	<b>貴施設における発達障がいのある方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
-------------	--	-------------

前回同様「課題があると感じる」が49.5%、「課題があるとは特に感じない」が20.2%となっています。

図表 7-4-4 発達障がいのある方への支援の課題



		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		109	20.2	49.5	30.3
問2 施設の種別	障がい者支援施設	92	20.7	48.9	30.4
	障がい児入所施設	16	18.8	50.0	31.3

**【参考】 前回調査結果**  
 ・課題があると感じる 48.6%  
 ・課題があるとは特に感じない 17.4%

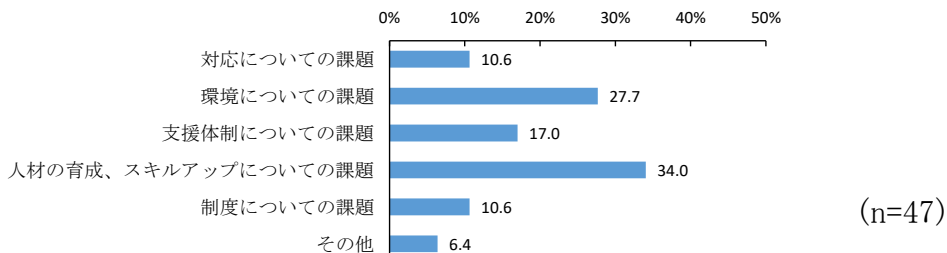
(5) 発達障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

<b>問15②</b>	<b>課題があると感じていることについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
-------------	-------------------------------------	-------------

「人材の育成、スキルアップについて」の記述が34.0%と最も多く、次いで「環境について」が27.7%、「支援体制について」が17.0%と続いています。紙面の都合上、主な意見を要約して掲載しています。

図表 7-4-5 発達障がいのある方への支援の課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	47(43.1%)	62(56.9%)



- 利用者の特性を理解し、その特性に配慮した支援をするための職員のスキル不足。
- 職員の障がい特性の理解と支援方法。
- 個別対応が十分出来るための職員体制が安定しない。
- 特性から該当すると思われるが、きちんとした診断や発達検査を受けている方が少なく、支援を考える上で、きちんとした根拠を共有し難い。
- 環境：音等刺激の強い場面での配慮。

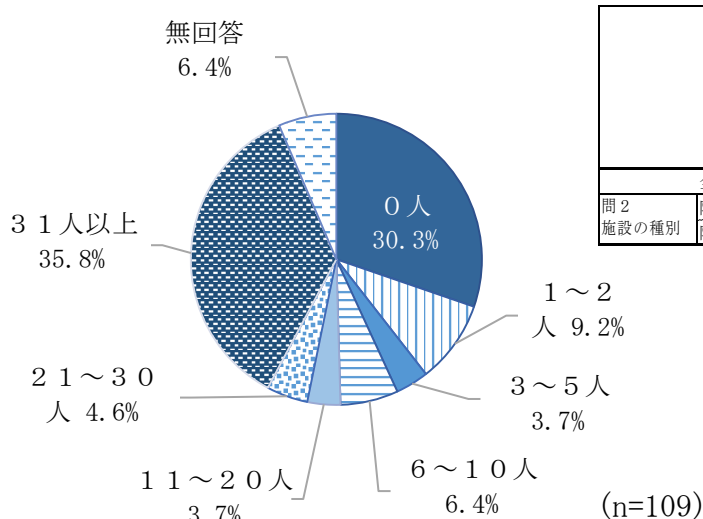
5. 医療的ケアの必要な方への支援について支援について

(1) 医療的ケアの必要な方の入所者数

<b>問16</b>	<b>貴施設において、医療的ケアの必要な方の入所者数について、あてはまる番号に○をつけてください。</b>	<b>単一回答</b>
------------	---	-------------

前回とは異なり、「31人以上」が35.8%と最も多く、次いで「0人」の30.3%、「1～2人」が9.2%と続いています。

図表 7-5-1 医療的ケアの必要な方の入所者数



	n	0人	1～2人	3～5人	6～10人	11～20人	21～30人	31人以上	無回答
全体	109	30.3	9.2	3.7	6.4	3.7	4.6	35.8	6.4
問2 障がい者支援施設	92	33.7	10.9	4.3	6.5	2.2	5.4	30.4	6.5
障がい児入所施設	16	6.3	0.0	0.0	6.3	12.5	0.0	68.8	6.3

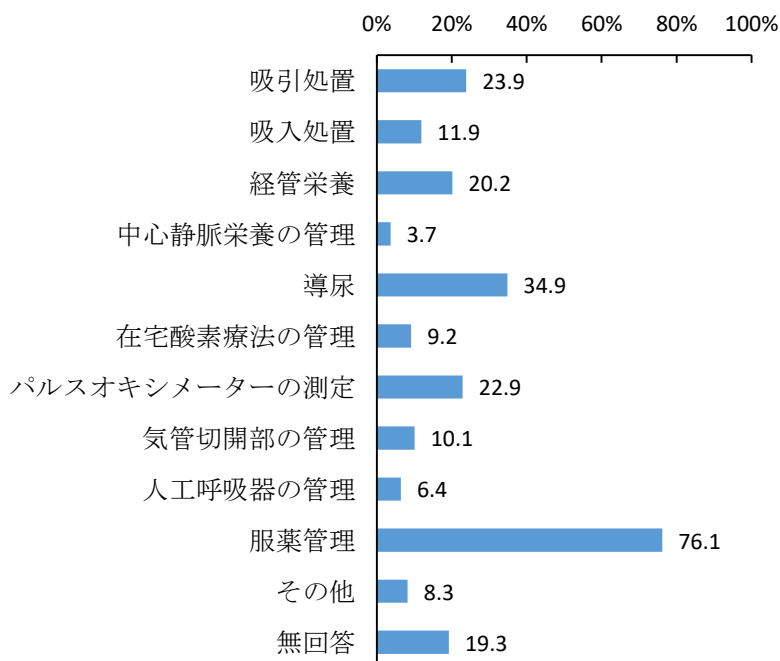
【参考】前回調査結果  
 ・0人 33.9%  
 ・31人以上 33.0%  
 ・1～2人 11.0%

(2) 必要としている医療的ケア

問17	現在、貴施設の入所者が必要としている医療的ケアについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

前回同様、「服薬管理」が76.1%と最も多く、次いで「導尿」が34.9%、「吸引処置」が23.9%と続いています。

図表 7-5-2 必要としている医療的ケア



(n=109)

<b>【参考】 前回調査結果</b>	
・服薬管理	66.1%
・導尿	34.9%
・たん吸引	19.3%
・経管栄養	19.3%

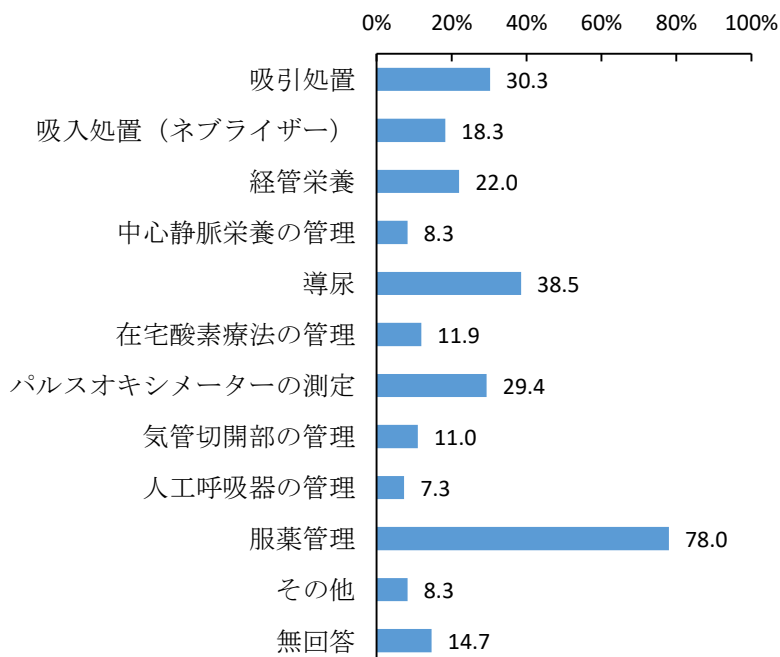
問2 施設の種別	n	吸引処置	吸入処置	経管栄養	中心静脈栄養の管理	導尿	在宅酸素療法の管理	パルスオキシメーターの測定	気管切開部の管理	人工呼吸器の管理	服薬管理	その他	無回答
全体	109	23.9	11.9	20.2	3.7	34.9	9.2	22.9	10.1	6.4	76.1	8.3	19.3
障がい者支援施設	92	2.0	0.5	1.5	0.1	3.3	0.7	1.8	0.3	0.0	7.4	0.9	2.1
障がい児入所施設	16	5.0	5.0	5.0	1.9	5.0	2.5	5.0	5.0	4.4	9.4	0.6	0.6

(3) 対応可能な医療的ケア

問 1 8	貴施設において対応可能な医療的ケアについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-------	---	------

前回同様、「服薬管理」が78.0%と最も多く、次いで「導尿」が38.5%、「吸引処置」が30.3%と続いています。

図表 7-5-3 対応可能な医療的ケア



(n=109)

<b>【参考】</b> 前回調査結果
・服薬管理 72.5%
・導尿 35.8%
・たん吸引 26.6%
・経管栄養 22.9%

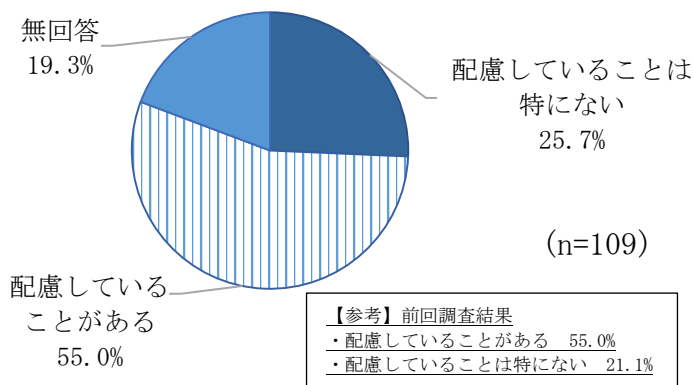
		n	吸引処置	吸入処置 (ネブライザー)	経管栄養	中心静脈栄養の管理	導尿	在宅酸素療法の管理	パルスオキシメーターの測定	気管切開部の管理	人工呼吸器の管理	服薬管理	その他	無回答
全体		109	30.3	18.3	22.0	8.3	38.5	11.9	29.4	11.0	7.3	78.0	8.3	14.7
問 2 施設の種類別	障がい者支援施設	92	23.9	9.8	15.2	1.1	33.7	6.5	23.9	3.3	0.0	76.1	8.7	16.3
	障がい児入所施設	16	68.8	68.8	62.5	50.0	62.5	43.8	62.5	56.3	50.0	93.8	6.3	6.3

(4) 医療的ケアの必要な方への配慮

<b>問19①</b>	<b>貴施設において、医療的ケアの必要な方に対して配慮していることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
-------------	--	-------------

前回同様、「配慮していることがある」が55.0%、「配慮していることは特にない」25.7%となっています。

図表 7-5-4 医療的ケアの必要な方への配慮



		n	配慮していることは特にない	配慮していることがある	無回答
全体		109	25.7	55.0	19.3
問2 施設の種類別	障がい者支援施設	92	28.3	52.2	19.6
	障がい児入所施設	16	6.3	75.0	18.8

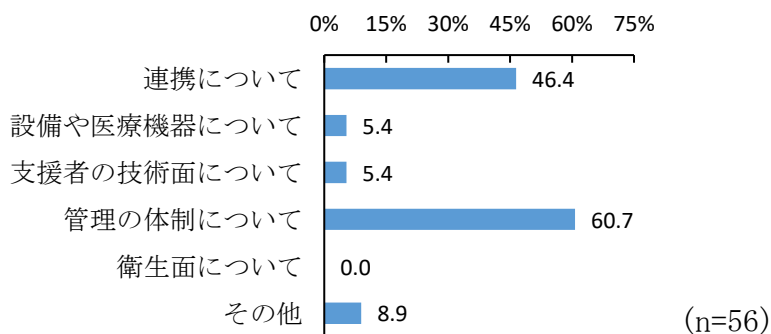
(5) 医療的ケアの必要な方への配慮についての具体的内容

<b>問19②</b>	<b>配慮している具体的なことについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
-------------	------------------------------------	-------------

「管理体制について」の記述が60.7%と最も多く、「連携について」が46.4%と続きました。紙面の都合上、主な意見を要約して掲載しています。

図表 7-5-5 医療的ケアの必要な方への配慮についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	56(51.4%)	53(48.6%)



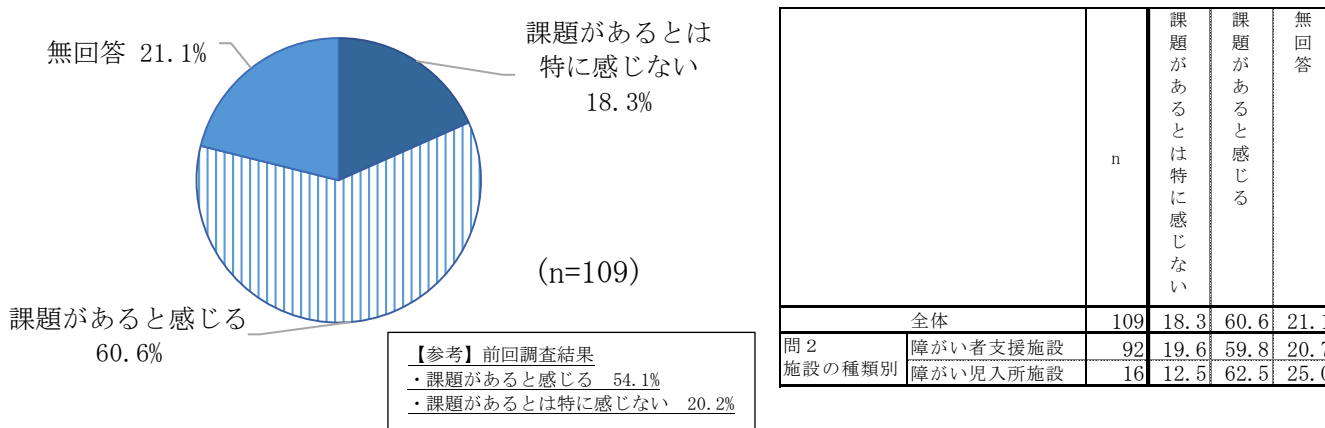
- 病院や看護師と連携しながら状態をこまめに管理して、定期的に診察や報告を行い、様子を観察している。
- 気管切開の方へは、基本SPO2モニター装着・重症児（呼吸器、気管切開 etc）を管理している部屋では、常にスタッフが居るようにしている。METコールを導入した。呼吸器装着児の登校時、休憩時間に担当教員と共に呼吸器チェックを行っている。
- 看護師を中心に医療的ケアが必要な児童に対して、日々の支援の中で、体調管理などを徹底している。
- 地域病院との連携。協力医として体調不良時には、時間外の受診、入院の対応。

(6) 医療的ケアが必要な方への支援の課題

<b>問 2 0 ①</b>	<b>貴施設における医療的ケアの必要な方に対する支援として、課題があると思われることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
----------------	---	-------------

前回同様、「課題があると感じる」が 60.6%、「課題があるとは特に感じない」が 18.3%となっています。

図表 7-5-6 医療的ケアが必要な方への支援の課題

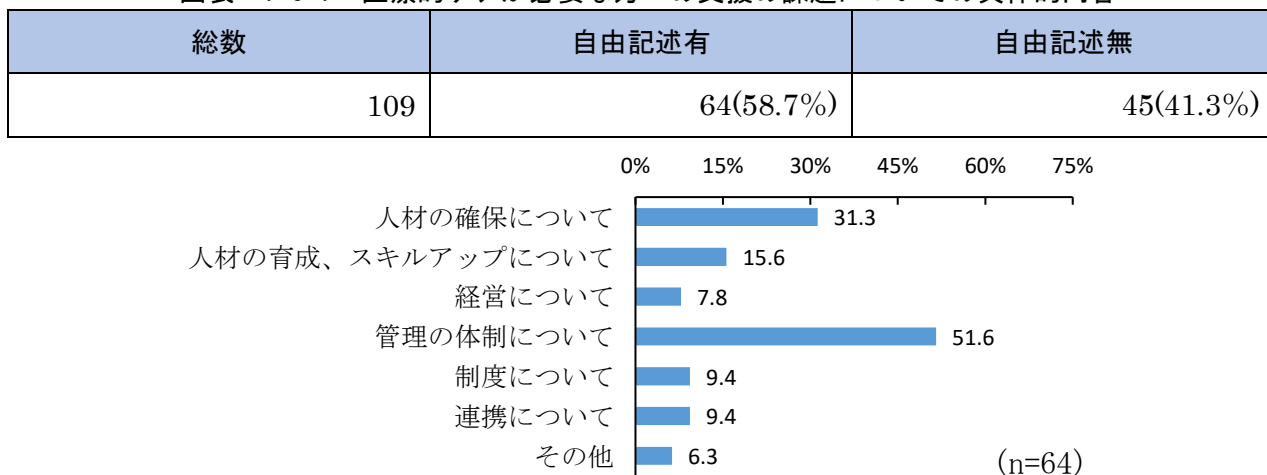


(7) 医療的ケアが必要な方への支援の課題についての具体的内容

<b>問 2 0 ②</b>	<b>課題があると感じていることについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
----------------	-------------------------------------	-------------

「管理体制について」の記述が 51.6%と最も多く、次いで「人材の確保について」が 31.3%と続きました。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-5-7 医療的ケアが必要な方への支援の課題についての具体的内容



- 利用者の高齢化、重度化に伴い、医療的ケアの必要な方が増えている。しかし人材は確保できない状況。
- 利用者の方の高齢化に伴い、施設での医療的ケアには限界があり、入院を機に退所する流れが進んでいる。
- 現在の症状が重度化した時に、どこまで対応できるか。また、夜間に看護職員がいないため、症状によっては対応が難しい。

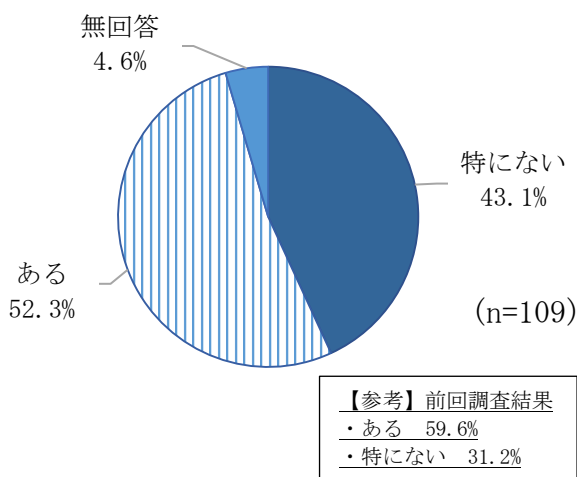
## 6. 日中の支援について

### (1) 日中支援で特に配慮していること

<b>問 2 1 ①</b>	貴施設において、日中の支援で特に配慮していることや力点を置いて取り組んでいること（特色のある取り組みをされていること）はありますか。	単一回答
----------------	--	------

前回同様、「ある」が52.3%、「特にない」が43.1%となっています。

図表 7-6-1 日中支援で特に配慮していること



		n	特にない	ある	無回答
全体		109	43.1	52.3	4.6
問 2 施設の種類の別	障がい者支援施設	92	42.4	53.3	4.3
	障がい児入所施設	16	50.0	43.8	6.3

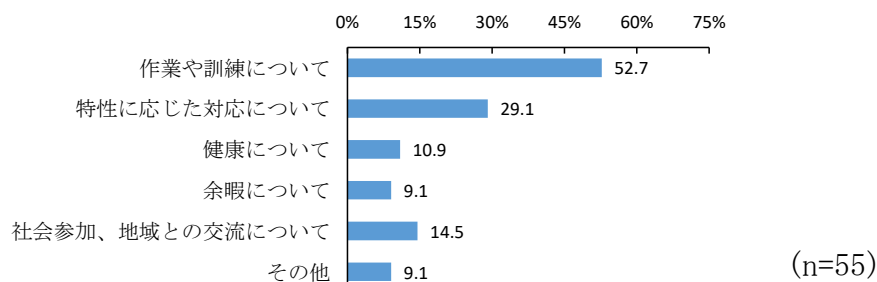
### (2) 日中支援で特に配慮していることについての具体的内容

<b>問 2 1 ②</b>	具体的なことについて、次にご記入ください。	自由記述
----------------	-----------------------	------

「作業や訓練について」の記述が52.7%と最も多く、次いで「特性に応じた対応について」が29.1%、「社会参加、地域との交流について」が14.5%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-6-2 日中支援で特に配慮していることについての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	55(50.5%)	54(49.5%)



- 平日は作業や日中活動を充実させ、休日は余暇活動等の取組を行う。
- 地域の活動場所を持ち、生活、日中とすみ分けをしている
- 将来の進学や就職など、生活全般において必要となる認知機能の強化トレーニングを実施したり、児童向けに工夫したSSTを行っている。幼児や知的障がい児、自閉症スペクトラム障がいの児童には、個別に療育を実施している。
- 障がい特性に応じた支援。

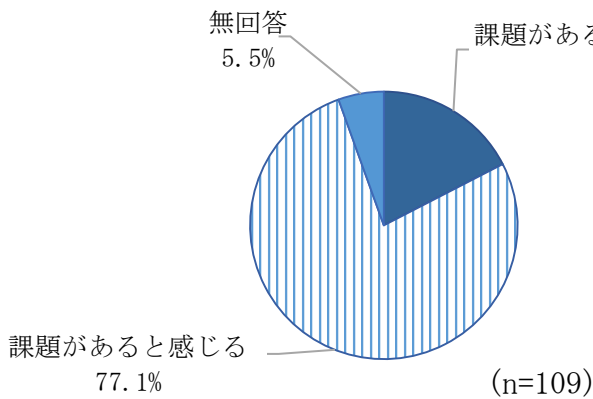


(3) 日中支援の課題

<b>問 2 2 ①</b>	<b>貴施設における日中の支援として、課題があると思われることはありますか。</b>	<b>単一回答</b>
----------------	--	-------------

前回同様、「課題があると感じる」が 77.1%、「課題があるとは特に感じない」が 17.4%となりました。

図表 7-6-3 日中支援の課題



**【参考】前回調査結果**  
 ・課題があると感じる 65.1%  
 ・課題があるとは特に感じない 20.2%

		n	課題があるとは特に感じない	課題があると感じる	無回答
全体		109	17.4	77.1	5.5
問 2 施設の種類の別	障がい者支援施設	92	16.3	78.3	5.4
	障がい児入所施設	16	25.0	68.8	6.3

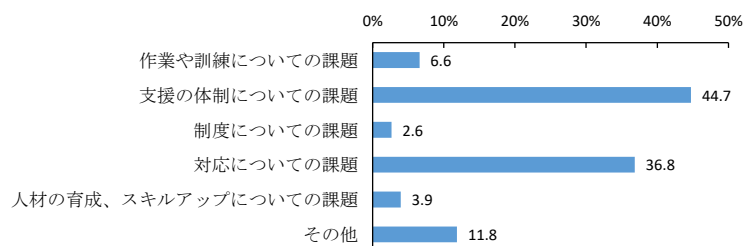
(4) 日中支援の課題についての具体的な内容

<b>問 2 2 ②</b>	<b>課題があると感じていることについて、次にご記入ください。</b>	<b>自由記述</b>
----------------	-------------------------------------	-------------

「支援の体制について」の記述が 44.7%と最も多く、次いで「対応について」が 36.8%、「作業や訓練について」が 6.6%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-6-4 日中支援の課題についての具体的な内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	76(69.7%)	33(30.3%)



- 生産活動の機会の提供不足・地域との関わり不足。
- 人員不足（職員）のため、1名で 20～30 名程度見なければならぬので、活動内容に限界がある。
- 職員の人数が不足していることもあり、複数に配置できないので、障がいのレベルや利用者のニーズに応じた活動内容が提供できない。（小グループ化できないため）
- 医療的ケアが多い方に対して日中活動の幅が狭く、同じような内容になってしまっている。

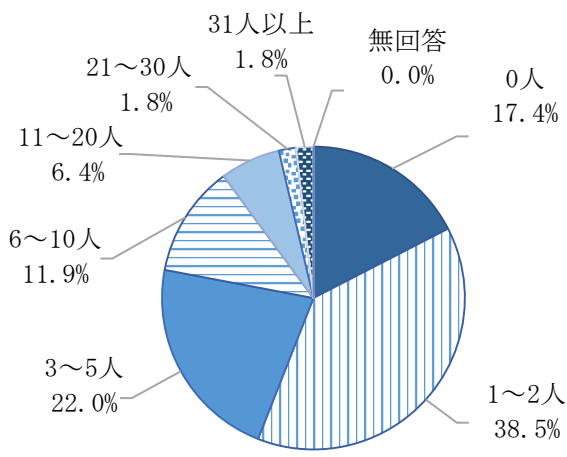
## 7. 地域移行について

### (1) 退所された人数

**問 2 3 ①** 昨年度（平成 30 年度中）に貴施設を退所された人数を記入してください。 **数値記入**

「1~2人」が38.5%と最も多く、「3~5人」が22.0%、「0人」が17.4%と続きました。

図表 7-7-1 退所された人数



	n	0人	1人	3人	6人	11人	21人	31人以上	無回答
全体	109	17.4	38.5	22.0	11.9	6.4	1.8	1.8	0.0
問2 施設の種別									
障がい者支援施設	92	18.5	43.5	22.8	8.7	4.3	0.0	2.2	0.0
障がい児入所施設	16	12.5	6.3	18.8	31.3	18.8	12.5	0.0	0.0

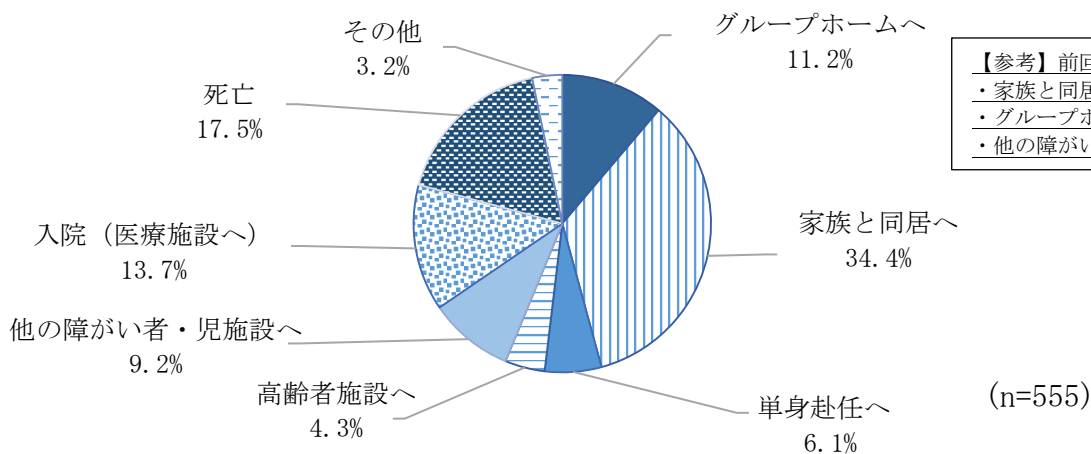
**【参考】** 前回調査結果  
 ・0人 22.0%  
 ・1人 19.3%  
 ・2人 16.5%

### (2) 退所された人数の内訳

**問 2 3 ②** 人数の内訳 **数値記入**

前回同様、「家族と同居」が34.5%と最も多く、次いで「死亡」が17.5%、「入院」が13.7%と続いています。

図表 7-7-2 退所された人数の内訳



**【参考】** 前回調査結果  
 ・家族と同居 34.3%  
 ・グループホーム 14.2%  
 ・他の障がい者・児施設 12.3%

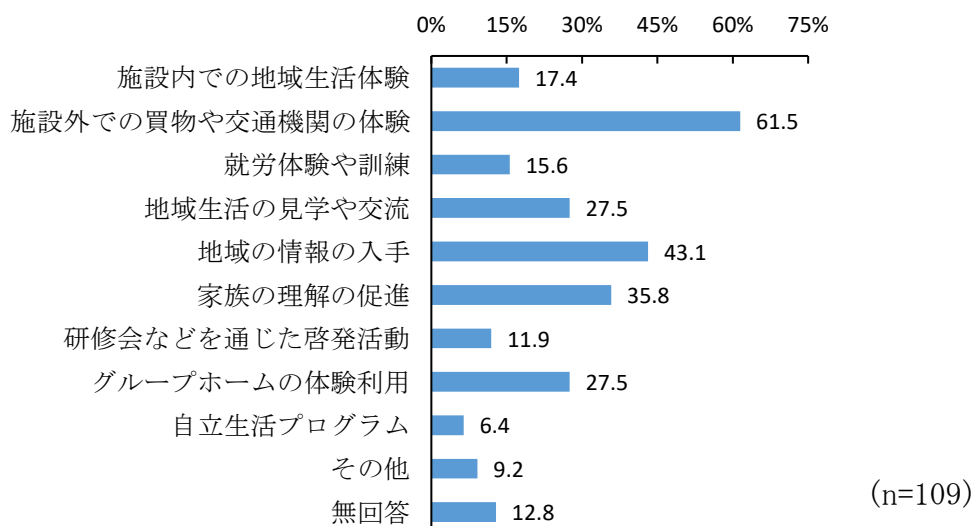
	n	グループホームへ	家族と同居へ	単身赴任へ	高齢者施設へ	他の障がい者・児施設へ	入院（医療施設へ）	死亡	その他	無回答
全体	555	11.2	34.4	6.1	4.3	9.2	13.7	17.5	3.2	0.0
問2 施設の種別										
障がい者支援施設	405	7.2	30.9	8.1	5.7	7.2	18.8	18.3	4.0	0.0
障がい児入所施設	148	22.3	44.6	0.7	0.7	14.9	0.0	15.5	1.4	0.0

(3) 地域移行に向けた取り組み

問 2 4	貴施設が取り組んでいる地域移行に向けた取り組み内容について、 あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-------	---	------

前回同様、「施設外での買い物や交通機関の体験」が 61.5%と最も多く、次いで「地域の情報の入手」が 43.1%、「家族の理解の促進」が 35.8%と続いています。

図表 7-7-3 地域移行に向けた取り組み



<b>【参考】 前回調査結果</b>	
・施設外での買い物や交通機関の体験	57.8%
・地域の情報の入手	42.2%
・家族の理解	36.7%
・グループホームの体験利用	36.7%

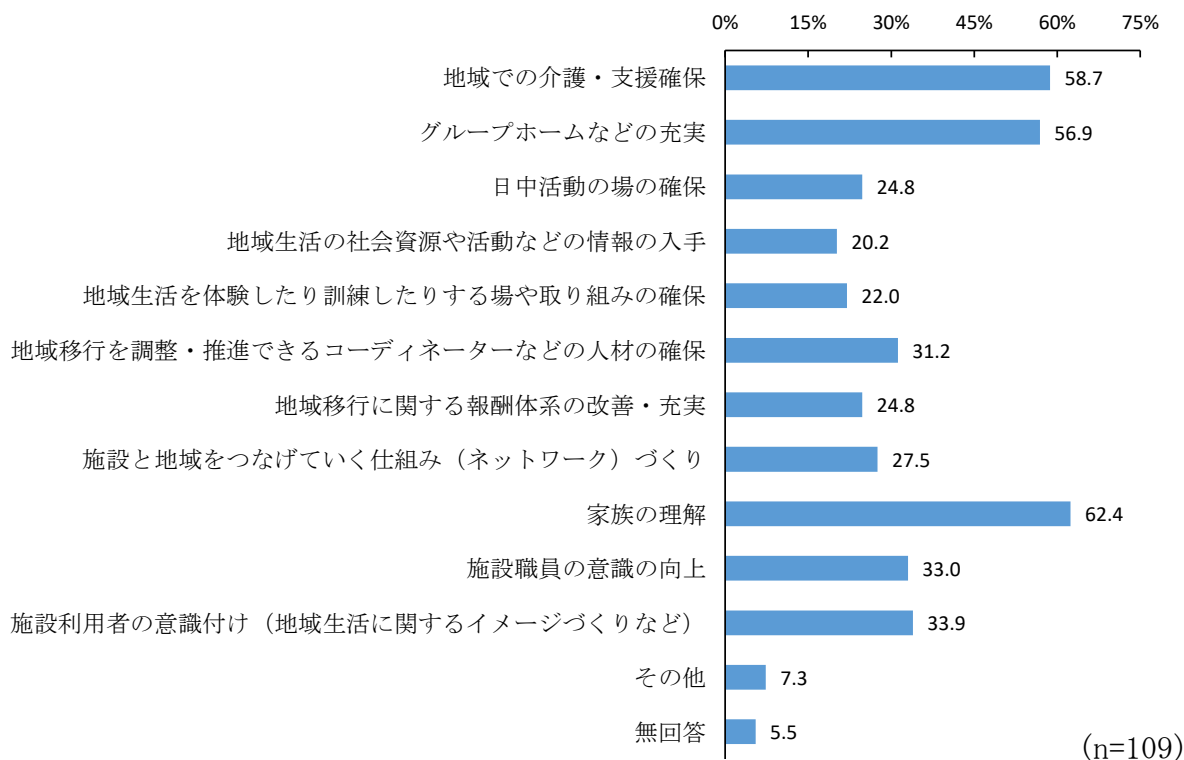
	n	施設内での地域生活体験	施設外での買い物や交通機関の体験	就労体験や訓練	地域生活の見学や交流	地域の情報の入手	家族の理解の促進	研修会などを通じた啓発活動	グループホームの体験利用	自立生活プログラム	その他	無回答	
		全体	109	17.4	61.5	15.6	27.5	43.1	35.8	11.9	27.5	6.4	9.2
問 2 施設の種類の別	障がい者支援施設	92	17.4	60.9	14.1	28.3	43.5	37.0	12.0	25.0	6.5	9.8	10.9
	障がい児入所施設	16	12.5	68.8	25.0	18.8	43.8	31.3	12.5	43.8	6.3	6.3	25.0

(1) 地域移行を進めるうえでの課題

問25①	貴施設において、地域移行を進めていくうえで課題であると思われることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
------	--	------

前回同様、「家族の理解」が62.4%と最も多く、次いで「地域での介護・支援確保」が58.7%、「グループホームなどの充実」が56.9%と続いています。

図表 7-7-4 地域移行を進めるうえでの課題



<b>【参考】 前回調査結果</b>	
・家族の理解	62.4%
・グループホームなどの充実	57.8%
・地域での介護・支援確保	44.0%
・施設職員の意識の向上	44.0%

施設の種類別	n	地域での介護・支援確保	グループホームなどの充実	日中活動の場の確保	地域生活の社会資源や活動などの情報の入手	地域生活を体験したり訓練したりする場や取り組みの確保	地域移行を調整・推進できるコーディネーターなどの人材の確保	地域移行に関する報酬体系の改善・充実	施設と地域をつなげていく仕組み（ネットワーク）づくり	家族の理解	施設職員の意識の向上	施設利用者の意識付け（地域生活に関するイメージづくりなど）	その他	無回答
全体	109	58.7	56.9	24.8	20.2	22.0	31.2	24.8	27.5	62.4	33.0	33.9	7.3	5.5
障がい者支援施設	92	56.5	56.5	19.6	19.6	20.7	30.4	23.9	23.9	67.4	34.8	38.0	8.7	4.3
障がい児入所施設	16	68.8	62.5	56.3	25.0	31.3	37.5	31.3	50.0	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5

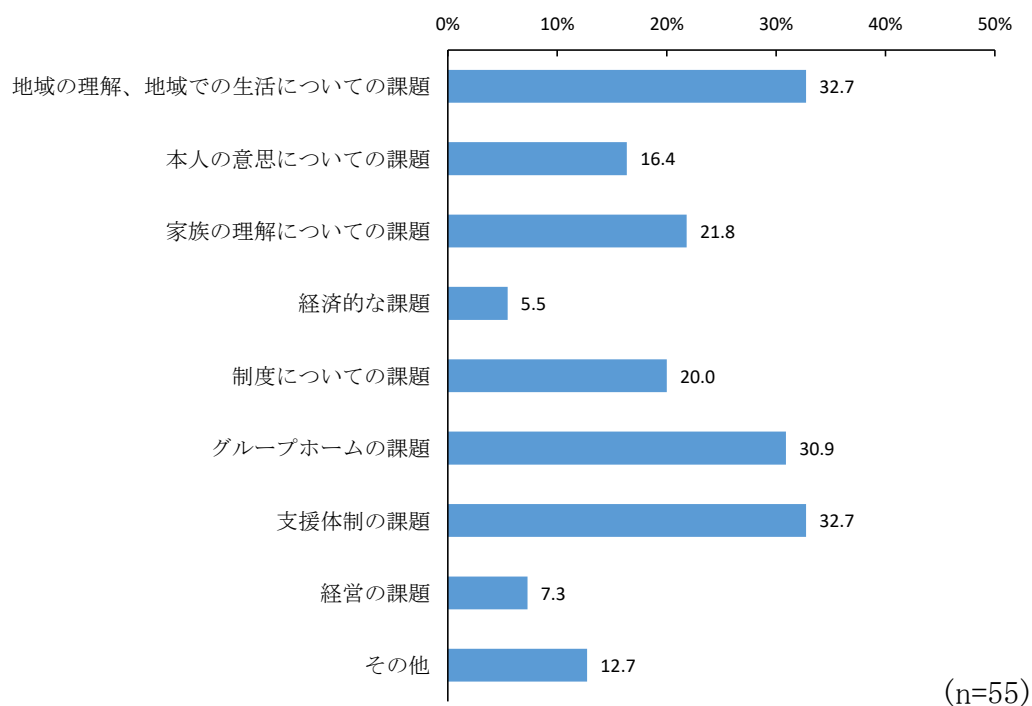
(1) 地域移行を進めるうえでの課題についての具体的な内容

<b>問 2 5 ②</b>	課題があると感じていることについて、次にご記入ください。（個別ケースとしての課題でも、制度的な課題でも結構です。）	自由記述
----------------	---	------

「地域の理解、地域での生活について」及び「支援体制」についての記述が 32.7%と最も多く、次いで「グループホーム」が 30.9%、「家族の理解」の 21.8%と続きました。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-7-5 地域移行を進めるうえでの課題についての具体的な内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	55(50.5%)	54(49.5%)



- 人材（ヘルパー）の不足。
- 車いす利用の方のグループホームがなかなかない。
- 居宅介護事業所の確保が難しい。
- 医療的ケアの方が行く日中活動場所の事業所が少ない。
- 再入所の確保、金銭（費用面）等により家族の理解・本人の思いと家族の思いの相違。
- 家族の理解がまったく進まないことが課題。
- 利用者本人の意志とそこご家族の意見の差・受け皿の少なさ（重度の身体障がい者向けのグループホームが少ない）。

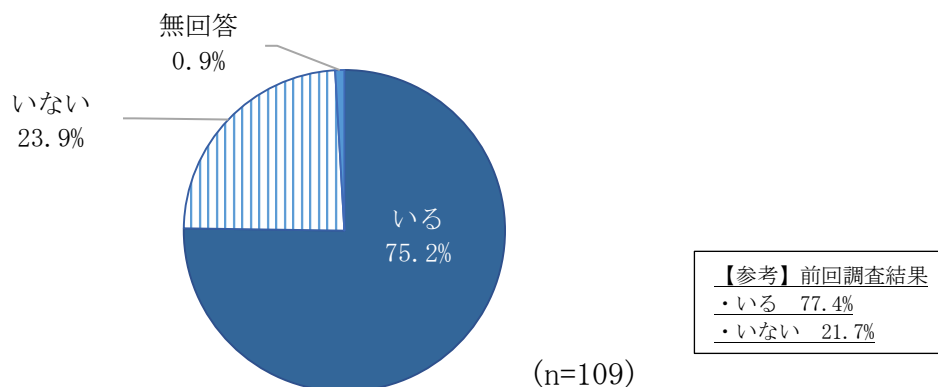
## 8. 短期入所の利用状況について

## (1) 短期入所を継続している人数

問26①	貴施設において、短期入所を繰り返し継続的に利用している方はいますか	単一回答
------	-----------------------------------	------

前回同様、「継続している」が75.2%、「継続していない」が23.9%となっています。

図表 7-8-1 短期入所を継続している人数



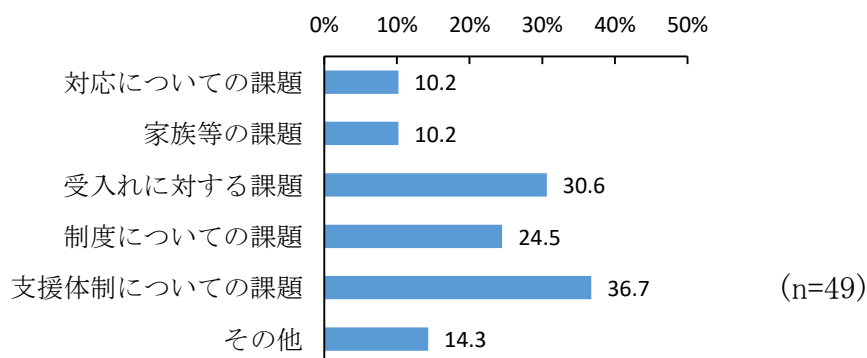
## (2) 短期入所を継続している方への課題についての具体的内容

問26②	前問①で「いる」に○をつけた方におたずねします。課題があると感じていることについて、次にご記入ください。（個別ケースとしての課題でも、制度的な課題でも結構です。）	自由記述
------	---	------

「支援体制について」の記述が36.7%と最も多く、次いで「受け入れに対する」が30.6%、「制度について」が24.5%と続きました。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-8-2 短期入所を継続している方への課題についての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	49(45.0%)	60(55.0%)



- 定期的に利用されている方で満床になり、緊急時の受入が出来ない。
- 入所施設が新しくできることはなく、現存の入所施設も定員の空きはない。グループホームも「重度」の人の受け入れは困難。結果として、ロングショートスティしかない人たちが年々増加している。

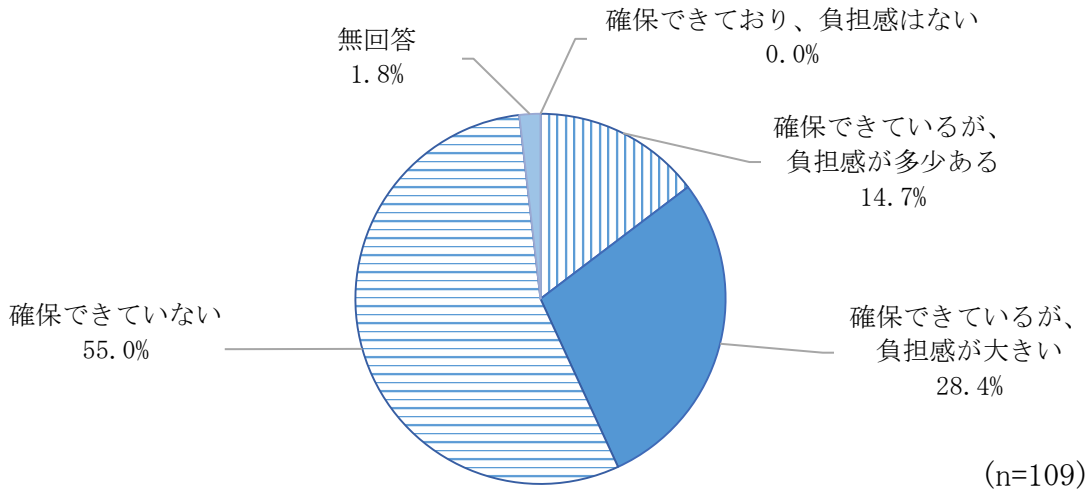
## 9. 障がい者施策全般について

### (1) 人材確保の状況と負担感

問27	貴施設における人材確保の状況と負担感について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
-----	---	------

「確保できていない」が55.0%で最も多く、次いで「確保ができているが、負担感が大きい」が28.4%、「確保できているが、負担感が多少ある」が14.7%と続いている。

図表 7-9-1 人材確保の状況と負担感

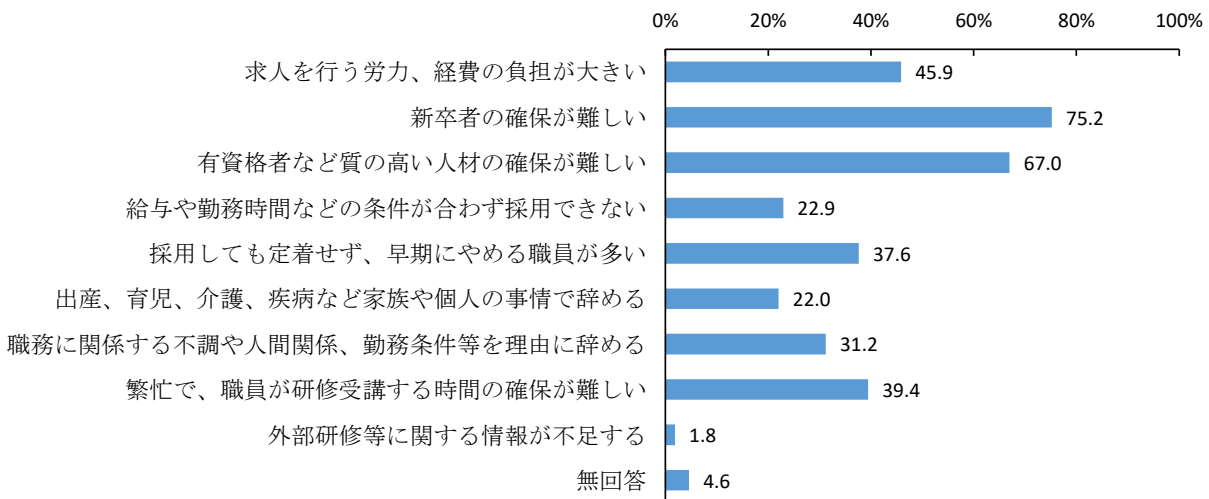


### (2) 人材確保・定着・育成に関する課題

問28	人材確保・定着・育成に関して、課題があると感じていることはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	--	------

「新卒者の確保が難しい」が75.2%と最も多く、次いで「有資格者など質の高い人材の確保が難しい」が67.0%、「求人を行う労力、経費の負担が大きい」が45.9%と続いています。

図表 7-9-2 人材確保・定着・育成に関する課題

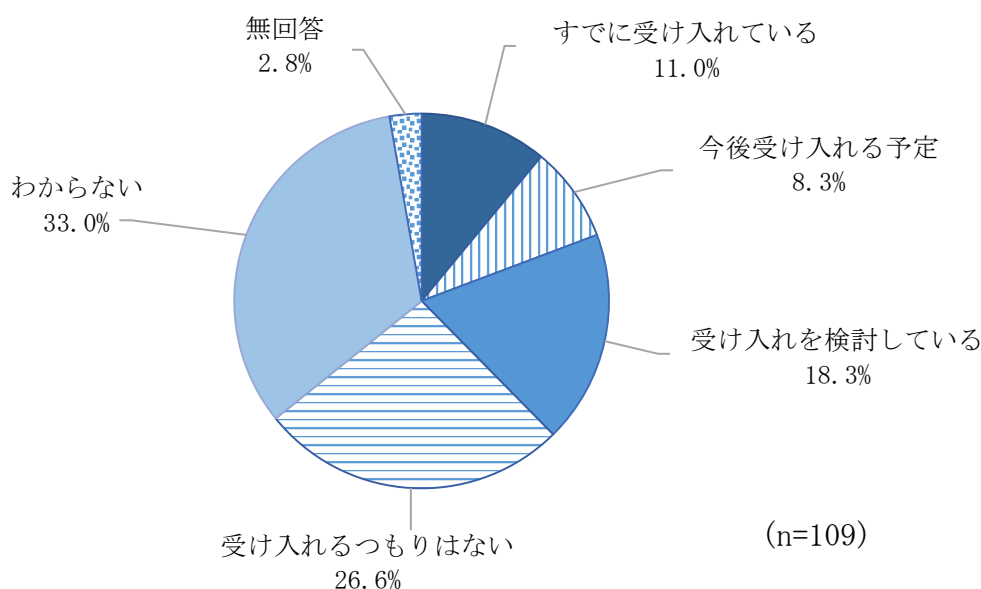


(3) 外国人人材の受け入れ状況

問29	貴施設における外国人人材の受け入れ状況について、あてはまる番号に○をつけてください。	単一回答
-----	--	------

外国人人材の受け入れについては、「わからない」が33.0%で最も多く、次いで「受け入れるつもりはない」が26.6%、「受け入れを検討している」が18.3%と続いています。

図表 7-9-3 外国人人材の受け入れ状況

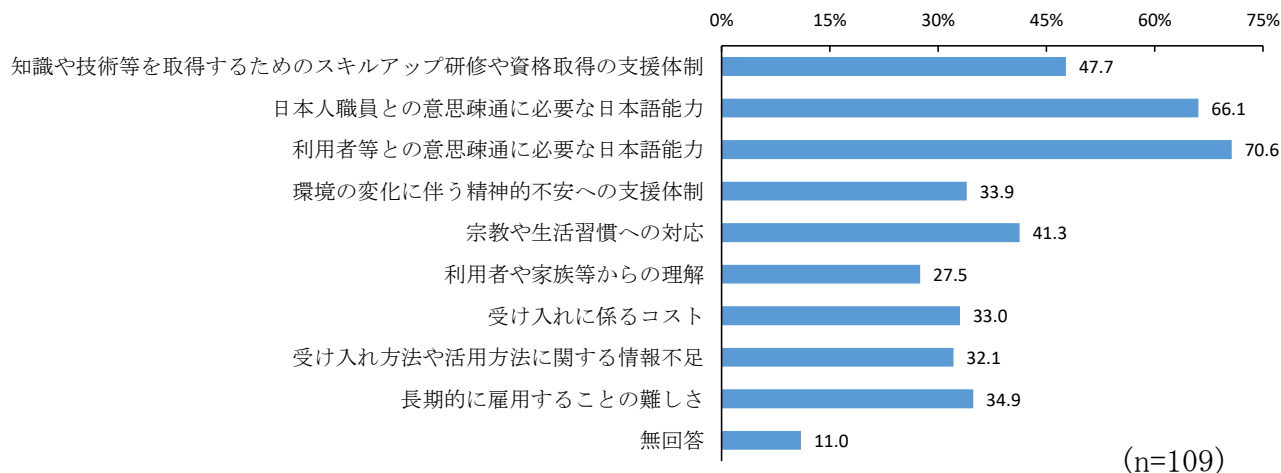


(4) 外国人人材の受け入れにあたっての課題

問30	外国人人材を受け入れるにあたっての課題について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。	複数回答
-----	---	------

「利用者等との意思疎通に必要な日本語能力」が70.6%と最も多く、次いで「日本人職員との意思疎通に必要な日本語能力」が66.1%、「知識や技術を取得するためのスキルアップ研修や資格取得の支援体制」が47.7%と続いています。

図表 7-9-4 外国人人材の受け入れにあたっての課題





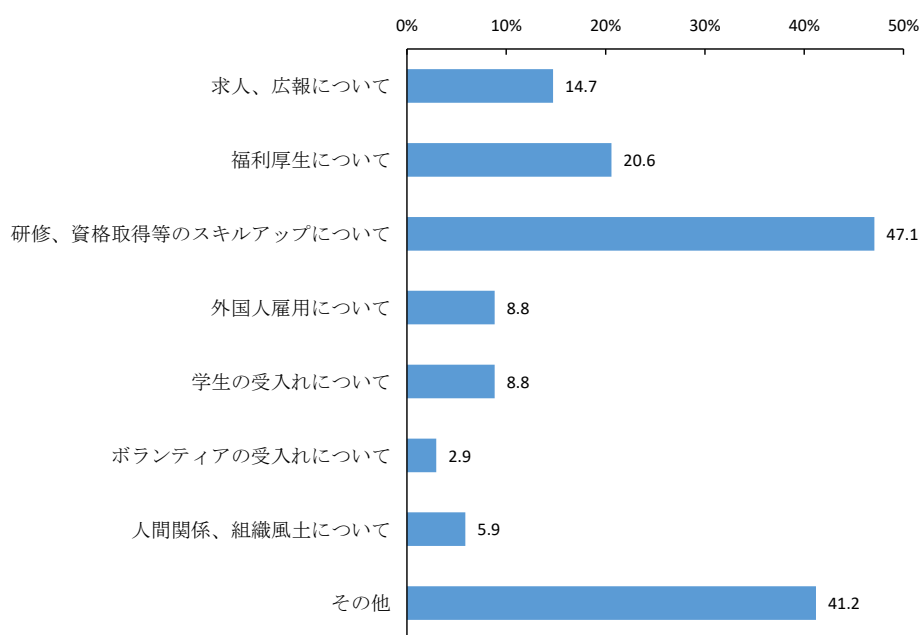
(5) 人材確保・定着・育成全般についての意見や取り組み

問31	人材確保・定着・育成全般について、ご意見や取り組まれていること（課題の解決に効果的だったことなど）などがありましたら、ご自由にお書きください。	自由記述
-----	---	------

「研修、資格取得等のスキルアップについて」の記述が47.1%と最も多く、次いで「その他」が41.2%、「福利厚生」が20.6%、「求人、広報」が14.7%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-9-5 人材確保・定着・育成全般についての意見や取り組み

総数	自由記述有	自由記述無
109	34(31.2%)	75(68.8%)



(n=34)

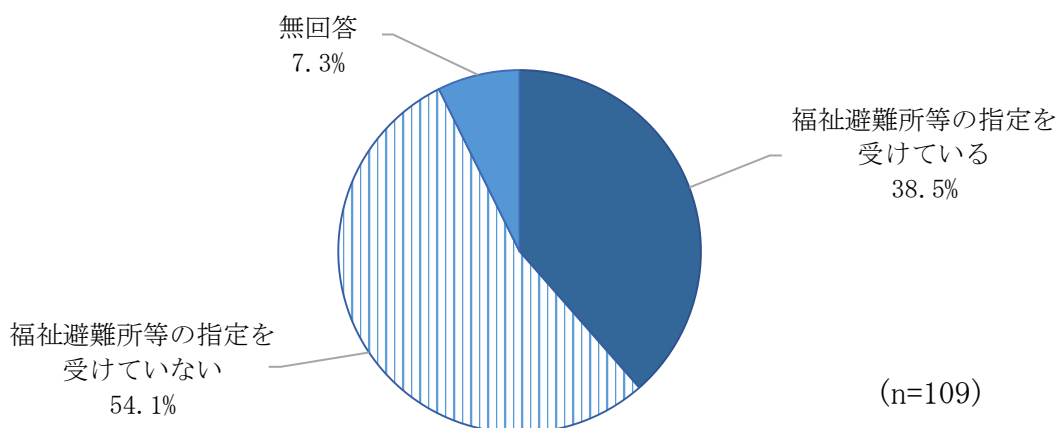
- 人材育成に携わる人を決めて、期間中は、その人と業務を一緒に行いながら、独り立ち出来るようにサポートしている。
- 人材確保のためには風通しのよい職場づくりと納得感のある賃金・労働条件が必要であると思う。
- 有給休暇など、休暇を取りやすい職場環境作りや、個人の事情に合わせたシフトの作成をする。
- 長く働けるように働き方についてのシステムづくりが必要。
- 有給休暇の取得率の向上。

## (6) 大阪市（区）の福祉避難所等の指定

問 3 2 ①	貴施設における非常災害時の対応についておたずねします。 貴施設では大阪市（区）の福祉避難所等の指定を受けていますか。	単一回答
---------	---	------

「福祉避難所等の指定を受けていない」が 54.1%、「福祉避難所等の指定を受けている」が 38.5%となっています。

図表 7-9-6 大阪市（区）の福祉避難所等の指定

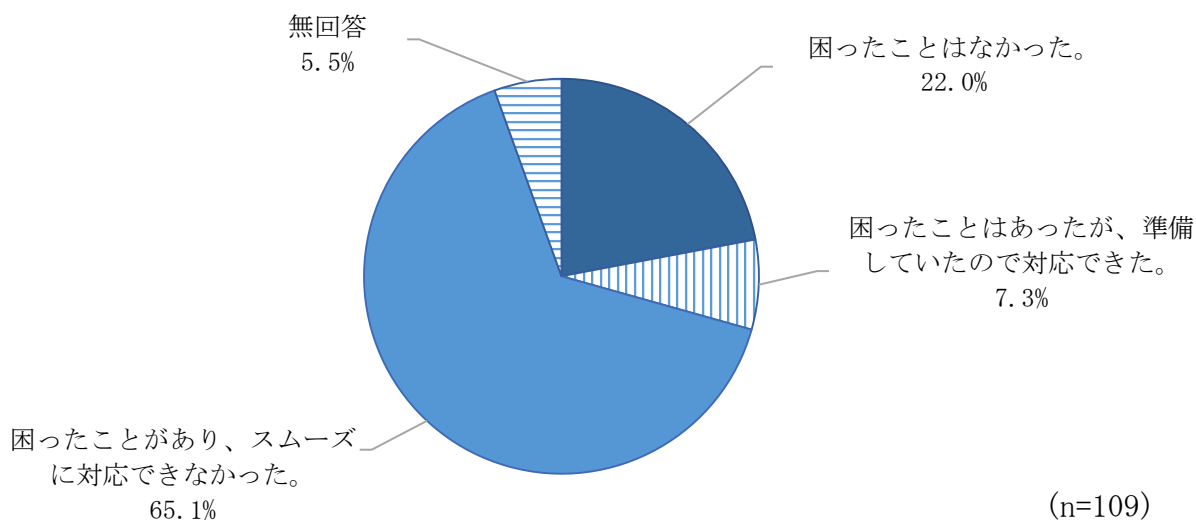


## (7) 大阪府北部地震や台風 21 号の際に困ったこと

問 3 2 ②	昨年（平成 30 年）に発生した大阪府北部地震や台風 21 号の際に、お困りになったことはありましたか。	単一回答
---------	--	------

「困ったことがあり、スムーズに対応できなかった」が 65.1%と最も多く、次いで「困ったことはなかった」が 22.0%、「困ったことがあったが、準備していたので対応できた」が 7.3%と続いています。

図表 7-9-7 大阪府北部地震や台風 21 号の際に困ったこと



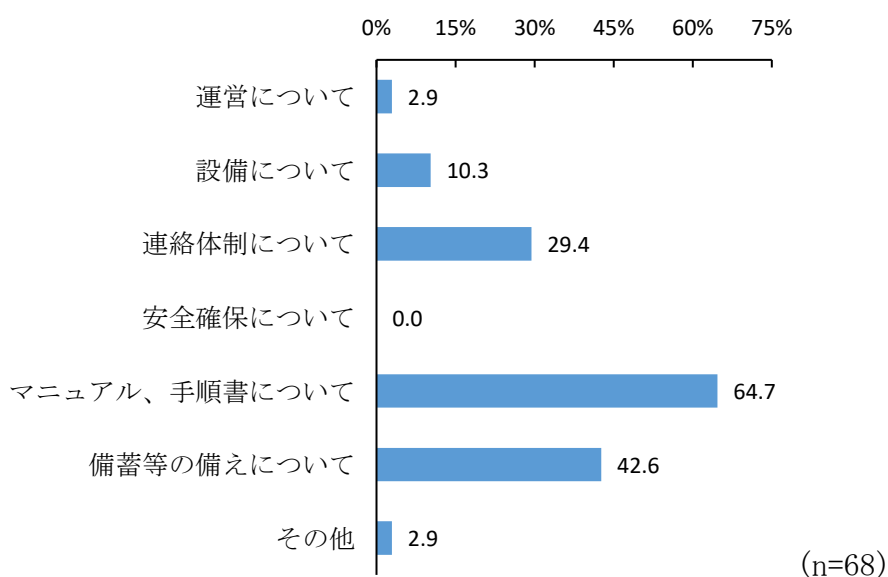
(8) 大阪府北部地震や台風 21 号の際に困ったことについての具体的内容

問 3 2 ③	前問②で「困ったことがあり、スムーズに対応できなかった。」に○をつけた施設の方におたずねします。 困ったことについて、次に具体的にご記入ください。	自由記述
---------	--	------

「マニュアル、手順書について」の記述が 64.7%と最も多く、次いで「備蓄の備えについて」が 42.6%、「連絡体制について」の 29.4%と続きました。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-9-8 大阪府北部地震や台風 21 号の際に困ったことについての具体的内容

総数	自由記述有	自由記述無
109	68(62.4%)	41(37.6%)



- 停電・断水・建物破損
- 停電対応型コージェネレーション発電機の設置
- ライフラインの確保
- 食料の備蓄（1週間分）
- 車輛についてガソリンをこまめに給油しておく。
- 防災講習会の実施（防災士指導の元、施設職員、地域の民生委員、利用者家族、福祉事務所、社協職員を交えて。）

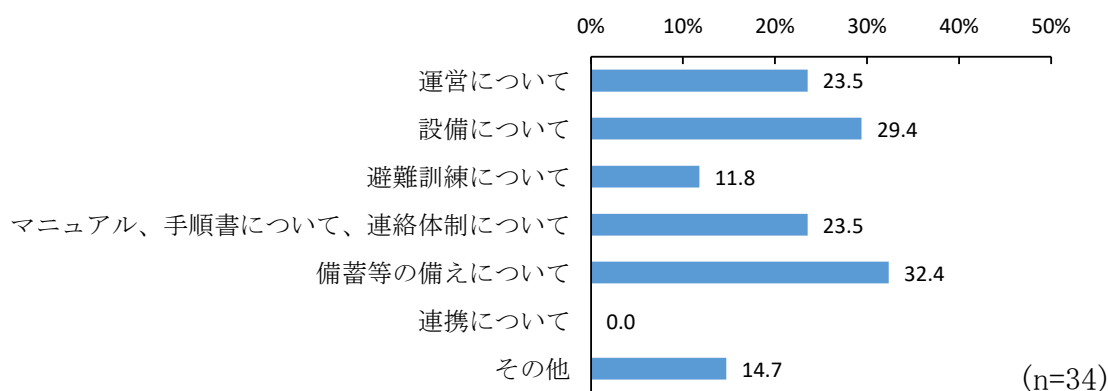
## (9) 災害時に備えた具体的な取り組み

問33	地震や台風のような災害時に備えた具体的な取り組みについて、その内容を次にご記入ください。	自由記述
-----	--	------

「備蓄の備え」についての記述が32.4%と最も多く、次いで「設備について」が29.4%、「運営について」及び「マニュアル、手順書、連絡体制について」23.5%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-9-9 災害時に備えた具体的な取り組み

総数	自由記述有	自由記述無
109	34(31.2%)	75(68.8%)



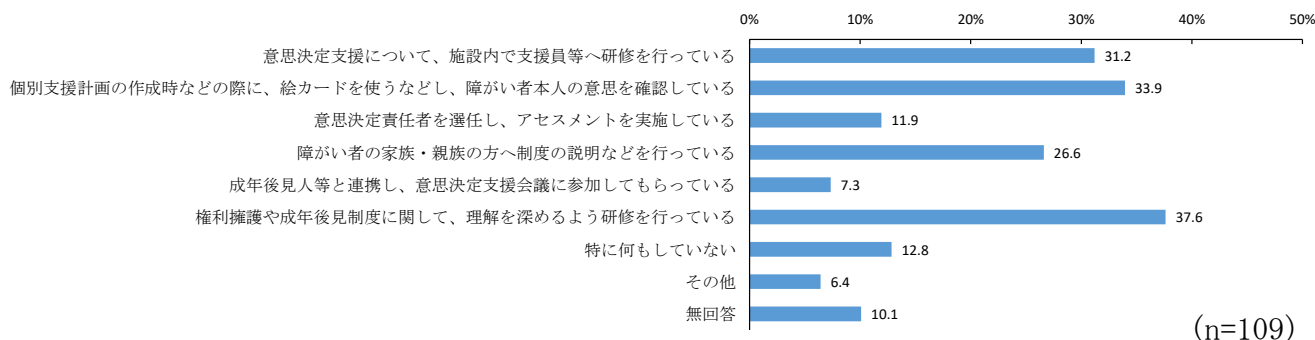
- 災害時に備えて、地域の消防団の方に一年一回参加して頂き、一緒に避難訓練を行っている。
- 手順等を作成し保管している。
- 地震や台風の時の災害時マニュアルは整備している。また、地震を想定して数年前より災害時用食料、医薬品の備蓄を行っている。
- 備蓄食の準備や照明（LED ランプ等）の準備。
- 電気の確保（電気が止まると水道もとまってしまうので）。
- ナースコールも全部止まった時の見守り体制作り。
- 電話が途中で止まった時の外部との連絡体制の整備。

(10) 意思決定支援への取り組み

問34	障がい者の意思決定支援について、貴施設ではどのように取り組まれています。	複数回答
-----	--------------------------------------	------

「権利擁護や成年後見制度に関して、理解を深めるよう研修を行っている」が37.6%と最も多く、次いで「個別支援計画の作成時などの際に絵カードを使うなどし、障がい者本人の意思を確認している」が33.9%、「意思決定支援について、施設内で支援員等へ研修を行っている」が31.2%と続いています

図表 7-9-10 意思決定支援への取り組み



問2 施設の種別	n	施設内で支援員等へ研修を行っている	個別支援計画の作成時などに、絵カードを使うなどし、障がい者本人の意思を確認している	アセスメントを実施している	障がい者の家族・親族の方へ説明などを行っている	成年後見人等と連携し、意思決定支援会議に参加している	権利擁護や成年後見制度に関する研修を行っている	特に何もしていない	その他	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	109	31.2	33.9	11.9	26.6	7.3	37.6	12.8	6.4	10.1
障がい者支援施設	92	35.9	31.5	10.9	22.8	6.5	39.1	14.1	6.5	8.7
障がい児入所施設	16	0.0	43.8	12.5	43.8	6.3	25.0	6.3	6.3	18.8

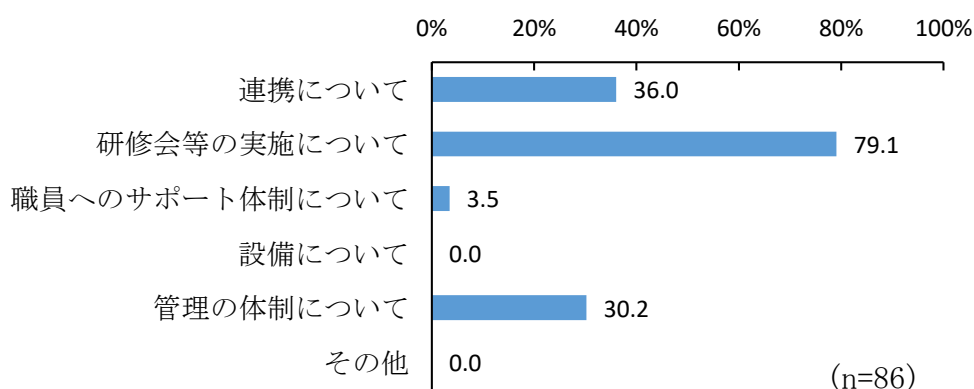
## (11) 虐待防止に向けた具体的な取り組み

<b>問35</b>	虐待防止に向けた具体的な取り組みについて、次にご記入ください。	自由記述
------------	---------------------------------	------

「研修会などの実施」が79.1%と最も多く、次いで「連携について」が36.0%、「管理の体制」が30.2%と続きました。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-9-11 虐待防止に向けた具体的な取り組み

総数	自由記述有	自由記述無
109	86(78.9%)	23(21.1%)



- 施設内で人権推進委員会、外部委員会（第三者的な委員会）を設けて取組んでいる。年に一回、法人全体で講師を招いて、人権研修を行っている。
- 法人的に倫理委員会、事業所内に虐待防止・身体拘束等適正化委員会を設置し全職員を対象に年間を通して内部研修を実施している。
- 委員会を中心に研修や事例の検討を行っている。
- 施設独自のマナーチェックを作成し、定期的に自己で振り返る機会を設けている。また毎朝唱和を行っている。年1回は外部講師を迎えて研修を行っている。定期的に不適切ケア、虐待についてのグループワークを通して、虐待防止に努めている。

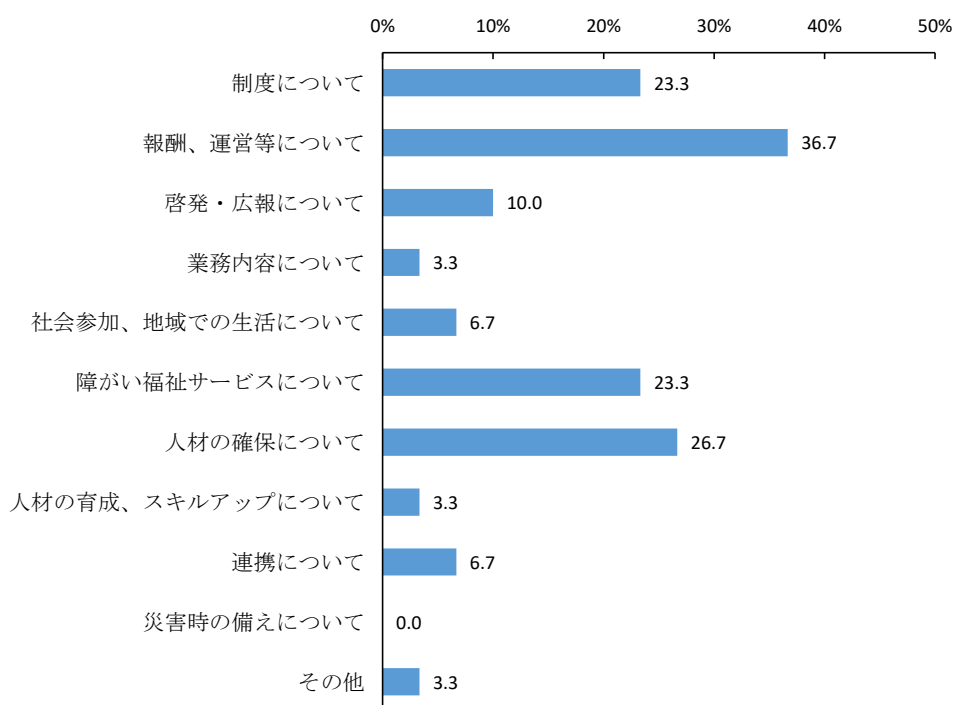
(12) 障がい者施設全般についての意見

<b>問36</b>	障がい者施設全般についてご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。	<b>自由記述</b>
------------	---------------------------------------	-------------

「報酬、運営等について」の記述が36.7%と最も多く、次いで「人材の確保について」が26.7%、「制度について」及び「障がい福祉サービスについて」が23.3%と続いています。

図表 7-9-12 障がい者施設全般についての意見

総数	自由記述有	自由記述無
109	30(27.5%)	79(72.5%)



(n=30)

- 人材確保に対する施策・障がい者の高齢化や重篤化に対する医療機関との連携
- 施設入所支援を利用されている方でも、在宅サービスを利用されると地域移行の取組みが促進されるように思います。
- 利用者の方も普段支援している施設職員ではなく在宅で勤務しているスタッフの支援のもと自活体験ができることより具体的なイメージがもてると思います。
- 施設運営の経済的課題（利用者負担軽減、職員処遇改善等）については自由経済活動として解決を委ねすぎるのではなく、実情を踏まえ国・地方自治体等からの積極的関与（施設・関係団体からの丁寧な聞き取りや必要な予算措置等）が必要であると考えます。

※ 333 ページ、第11章（3）に、全調査票をまとめたコメントを掲載しています

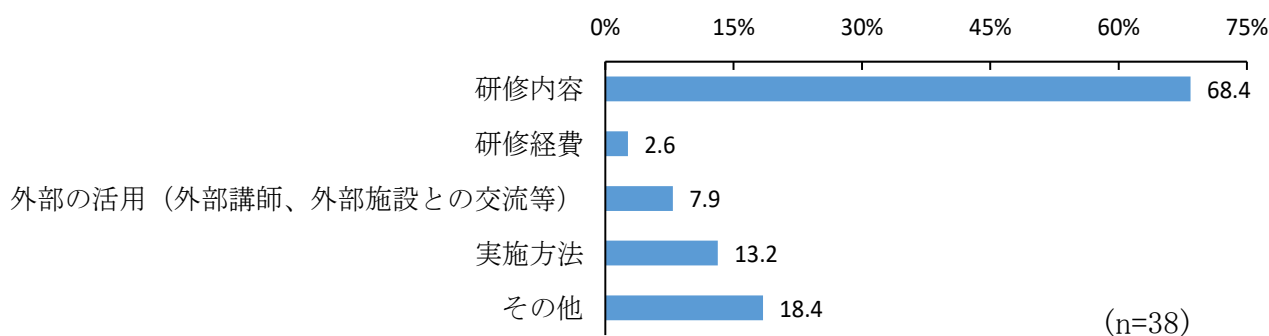
## (13) 望ましい事業所運営のための定期的な研修のあり方について

問37	望ましい事業所運営のための定期的な研修のあり方について、どのようにお考えですか。その内容を次にご記入ください。	自由記述
-----	---	------

「研修内容」についての記述が68.4%と最も多く、次いで「その他」が18.4%、「実施方法」が13.2%と続いています。紙面の都合上、主な内容を要約して掲載しています。

図表 7-9-13 望ましい事業所運営のための定期的な研修のあり方について

総数	自由記述有	自由記述無
109	38(34.9%)	71(65.1%)



- 階層別研修
- 問題を共有し、自分なら何がしたいかなどスタッフで話せる研修もあって良いと思う。スタッフが病棟をつくりあげる気合をもてそんな研修ができると良いと思う。
- くり返し伝えていく事で、職員の理解を深めていく事が出来る。
- 内部研修の計画的実践。外部研修への参加、伝達。